

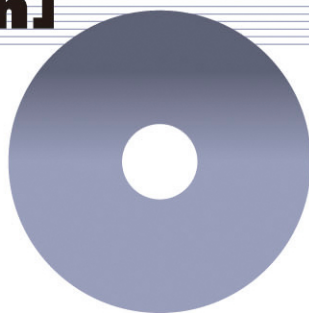
AN INTEGRATED APPROACH TO INTERMEDIATE JAPANESE

[Revised Edition]

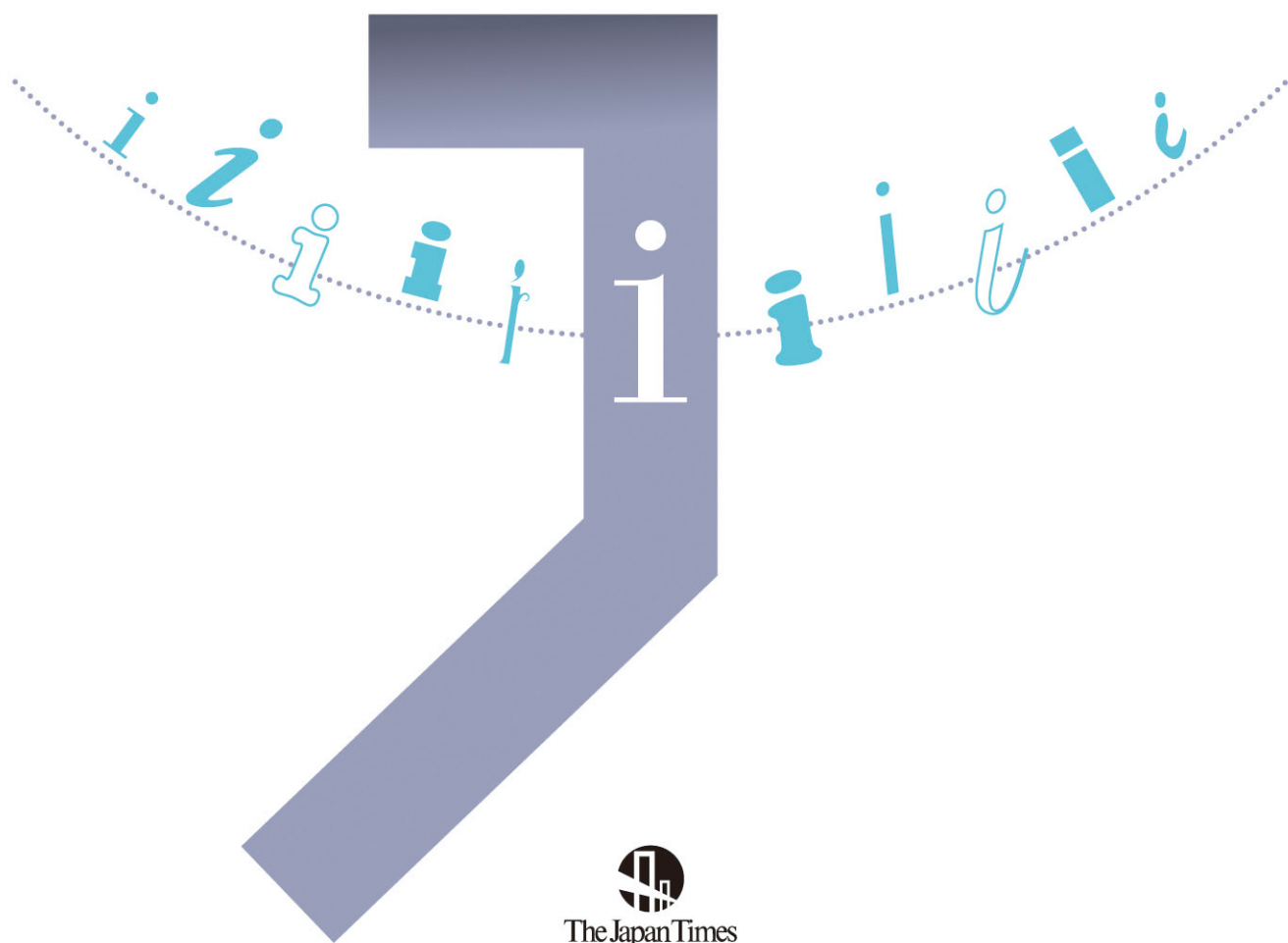
**Akira Miura &
Naomi Hanaoka McGloin**



With 2 CDs



中級の日本語
[改訂版]



The Japan Times



本書は、1994年に出版された『An Integrated Approach to Intermediate Japanese (中級の日本語)』の改訂版である。当時、ウィスコンシン大学で日本語を教えていた三浦とマグロインは、そのころアメリカで使われていた中級用教科書が我々の教え方に合わないのを、我々の二年生のレベルで使える教科書を作ろうと努力し、二年間でこの教科書を書き上げた。それから十四年経ったわけだが、その間、この教科書が、多くの先生方、そして日本語を学ぶ学生さんたちに使っていただくことができたことを、我々は非常に嬉しく思っている。

教科書は出版されたその日から古くなる、とよく言われているが、まさにその通りである。また、この十四年間の日本語、日本文化の変化にはめざましいものがあった。特に日本の若者たちの話し方には大きな変化が見られるし、女性の役割など、日本事情の変化も少なくない。そこで、遅ればせながら、古い情報と言語使用を更新し、改訂版として出版することにした。しかし、教科書構成の大枠は変わっていないし、日本語四技能を伸ばすとともに日本社会事情の理解を深めようとする初期のねらいも変わっていない。

94年に発行した第1版は、三浦とマグロインがお互いにアイディアを出し合って完成したものだった。「会話」と、生教材以外の「読み物」は三浦の執筆したものが多かったが、マグロインの貢献も少なくなかった。その他は、三浦がCulture Notes、運用練習、聞き取り練習、速読を、そしてマグロインが単語表、文法ノート、文法練習を担当していた。今回の改訂版では、マグロインが改訂作業全般を担当し、三浦がそれに目を通すという形をとった。

この改訂版の出版に関しては、ジャパントイムズ出版編集部の関戸千明さん、岡本江奈さんにひとかたならぬお世話になった。また、改訂作業に関しては、北海道大学の柳町智治教授の協力を得ることができて幸いだった。柳町教授には、特に会話や読み物本文の見直しにおいて、日本の現状に即した貴重なアドバイスをいただいた上に、CD収録の際も大変お世話になった。この場を借りて改めて感謝申し上げる。そのほか、この教科書を使ってくださっている多くの先生方からも、この教科書に関して、数々のご指摘をいただいた。心よりお礼を申し上げたい。

2008年6月

マグロイン花岡直美 (ウィスコンシン大学教授)

三浦 昭 (ウィスコンシン大学名誉教授)

Copyright © 2008 by Akira Miura and Naomi Hanaoka McGloin

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of the publisher.

First edition: June 1994

Revised edition: July 2008

Recordings: Kazusa Amagai, Takaomi Ashizawa, Takeshi Maruyama and Kiyoko Nagaki

Illustrations: Seiji Okada and Shizuo Okuda

Layout and Cover art: Hiroshi Ueda + Zebra

Published by The Japan Times, Ltd.

5-4, Shibaura 4-chome, Minato-ku, Tokyo 108-0023, Japan

Tel: 03-3453-2013

<http://bookclub.japantimes.co.jp/>

ISBN978-4-7890-1307-9

Printed in Japan

目次

はしがき	iii
ほんしょ 本書について	vi

第 1 課 >>> しょうかい 紹介	はじ [初めて人に会う]	1
-----------------------	-----------------	---

第 2 課 >>> あいさつごふ あいさつ言葉	[あいさつする]	23
----------------------------	----------	----

第 3 課 >>> にっぽんへのりゅうがく 日本への留学	たの [頼む]	43
---------------------------------	------------	----

第 4 課 >>> ホームステイ	きょか [許可をもらう]	61
------------------	-----------------	----

第 5 課 >>> 大学で	しつもん [質問する] [アドバイスを求める／ あた 与える]	83
---------------	--	----

第 6 課 >>> レストランで	ちゅうもん [注文する] [引用する]	101
------------------	------------------------	-----

第 7 課 >>> レクリエーション	さそ [人を誘う] [人に誘われる]	121
--------------------	-----------------------	-----

第 8 課 >>> アルバイトさがし 探し	しごと [仕事を探す]	141
--------------------------	----------------	-----

第 9 課 >>> おくもの 贈り物	[あげる／もらう]	159
-----------------------	-----------	-----

第 10 課 >>> りょこう 旅行	よやく [予約する／切符を買う]	177
-----------------------	---------------------	-----

第 11 課 >>> ホストファミリーとのもんだい 問題	もんく [文句を言う] [あやまる]	197
---------------------------------	-----------------------	-----

第 12 課 >>> びょうき 病気になったら	びょうじょう [病状を訴える]	217
----------------------------	--------------------	-----

第 13 課 >>> にっぽんごたいけん 日本語体験	かこ [過去の経験を述べる]	235
-------------------------------	-------------------	-----

第 14 課 >>> にっぽんじょ 日本の女性	いけん [自分の意見を述べる]	255
----------------------------	--------------------	-----

第 15 課 >>> ウチから見た日本、ソトから見た日本	[インタビューする]	277
------------------------------	------------	-----

ぶんぽうさくいん 文法索引	299
かんじさくいん 漢字索引	301
たんごさくいん 単語索引	318

本書について

◆この教科書のレベル >>>>

この教科書は、受け身形、使役形までを含む基本文法と100字程度の基本漢字の習得を終え、初級レベルの四技能を一応身につけた学生を対象としている。ウィスコンシン大学でいうと、一年のコース(240時間)を終えた者ということになる。ウィスコンシン大学は割合恵まれていて、一、二年の日本語が週8時間のコースなので、この教科書を二年の初めに始めて、各課に2週間かけると、だいたい一学年(30週)で全15課がちょうど完了する。一、二年のコースが週5時間しかない大学では、この教科書を二年の後半から使って下さってもよく、また第三学年にかかってもやむを得ないと思われる。

◆改訂について >>>>

1. 大学生の発話は、なるべく今の若者の発話に近くするように気をつけた。特に、文末表現は、女性的／男性的な表現を避け、中立的な表現にするように努めた。
2. 会話と読み物で、内容が日本の現状とずれるところは、新しいデータなどを取り入れて刷新を試みた。特に、第5課の日本の高校生・大学生に関する記述、第14課の女性に関する新聞記事は大幅に変えた。他の読み物も、大幅ではないが、現状と合わない記述は訂正した。会話では、第7課の会話2、第9課の会話1、そして第14課の会話2・3は完全に新しくした。
3. 第15課は、すべて新しく書きかえた。会話の機能も「インタビューする」というもので、会話は実際のインタビューに基づいている。読み物には「Coolな日本」「『きまり』だらけの日本、『きまり』のないタイ」という記事を選び、外から見た現代の日本を話題にしている。
4. 各課に「会話練習のポイント」という項目を新しく作った。会話練習のポイントは、各課の会話の機能に沿った練習をするための会話の枠組みを示すもので、会話を練習する際の手助けとなる。なお、この項目を設けることに関しては、この教科書(旧版)に準拠して作られた副教材集(2001年、岐阜大学留学生センター発行)に、そもそものヒントを得ているので、ここに記しておきたい。
5. 文法ノート、文法練習を増やし、文法練習は、教室作業と並行して行いやすいように、テキストとは別に設けたワークブックに収録した。文法練習には、似たような文法表現、例えば、「ことになる・ようになる」「ために・ように」「よう・そう・らしい」などの練習も含めた。
6. ワークブックには文法練習のほかに、読み物の内容質問と、各課の「書くのを覚える漢字」を練習するための漢字シートを収めた。

7. 音声教材は、すべての音声を新しく録音し直し、CDに収録して、テキストに添付した。各課とも、「会話」「聞き取り練習」だけでなく「読み物」も収録してある。
8. 教材の専用サイトを設けて、この教材を使って教える上で役に立つ教材や情報を提供する。このサイトから漢字シートをダウンロードすることもできる(2008年秋開設予定)。

◆この教科書のねらい >>>>

1. この教科書の基本的な目標は、**中級レベルの学生の聞・話・読・書の四技能を並行的に伸ばす**ことにある。その目標に従って、次の諸点に心がけた。
 - a. 各課の中心に会話と読み物とを置き、また各課の最後には、速読用の読み物も設けた。
 - b. 書く練習としては、文法練習以外に作文も含めた。
 - c. 各課に、聞き取り問題を入れた。
2. 第二に、この教科書は、**現実的な内容と機能、そして自然な日本語を教える**ことを目指し、そのために次の諸点に留意した。
 - a. 各課で、コミュニケーションに必要と思われる機能(紹介する、誘う／誘われる、など)を導入した。そして、その会話の練習がしやすいように、会話練習のポイントとして、各課の機能をハイライトした会話の枠組みを示した。
 - b. 会話を自然なものとするように(例えば、会話が書き言葉で行われたりしないように)気をつけた。また会話のスタイルも、「デス・マス体」のほか、「ダ体」や敬語などを適宜混ぜてある。
 - c. ワークブックに収録した「文法練習」は、置き換えドリルなどの機械的なものを避けて、考えて答えるものを中心とし、会話練習的なものも多く含めた。
 - d. authenticな日本語を示すという意味で、最後の5課分(第11課～第15課)の読み物には生教材(エッセイ、新聞記事など)を使用した。
 - e. 各課に、「運用練習」の名でcommunicativeな練習をつけ、ペアワークや小グループワークにより、学生が積極的にコミュニケーション活動に参加できるようにした。

3. 第三に、この教科書は、**これを使う外国人学生の日本に対する理解を深める**ことを目標とし、そのために次の諸点に心がけた。
- a. 初めの3課を除き、残りの12課は、留学生の日本での生活を題材とし、特に最後の2課では、現代日本の社会・文化問題を扱った。
 - b. 各課に英語で Culture Notes をつけた。
 - c. 「速読」では、原則として、広い意味での日本文化（日本人の考え方、習慣など）を題材にした。
 - d. 各課の終わりに、ことわざや俳句をつけた。

◆漢字使用について >>>>>

漢字の使用は、比較的自由なものとした。中級の教科書には、教育漢字を全部導入することを目的とするものが目立つが、そのやり方は意識的に避けた。教育漢字と言っても、使用頻度の高いものから低いものまであるし、教育漢字を全部公平に導入するという立場を取ると、そのために無理な単語を導入したり、不自然な文を入れてしまったりする羽目に陥る。現に、現在市販されている中級教科書の中には、その例が多く見られる。また、大学生の生活に関係の深い漢字や日本文化に密着した漢字ならば、たとえ教育漢字に含まれていなくても、当然導入すべきだと考えられる。そもそも日本の漢字は、一つの字に一つ以上の読み方があるのが普通だから、漢字をいくつ導入したという考え方は、あまり意味がない。したがって我々は、漢字の使用に関しては、常識と柔軟性を第一として、数には捉われないようにした。また、導入漢字のすべてが書けるように要求するのも、無謀かつ無意味に近いと考えられるので、各課の導入漢字は、「書くのを覚える漢字」と「読めればよい漢字」とに分けた。この教科書は、アメリカの大学の日本語の学生が二年のコースを取りはじめる際に、一年度で習って覚えている漢字は多分100字程度であろうという前提に立っている。そして、二年のコースでは、そのほかに、書ける漢字と読める漢字を合計700～800ぐらい覚えてもらえば十分という立場を取っている。

◆この教科書の使い方 >>>>>

1. Culture Notes

Culture Notes は、各課に入るに当たって読ませておく。その内容については、教室で質問して理解度をチェックするとよい。

2. 会話

会話はCDで聞かせ、クラスでも練習させる。比較的長い会話が多いので、全部を暗唱させるのは難しいと思われる。暗唱させたい場合は、会話をいくつかに切って覚えさせるか、一番役に立ちそうなところ（例えば、各課の会話練習のポイントとして提示されている部分）を覚えさせるのがいいだろう。要は、どういう場合にどう言うか、相手にどう言われたらどう答えるか、ということであって、会話の人物と一言一句同じ発言をする必要はない。教師は学生の言葉をよく聞いて、誤りのない限り、ある程度の variation は許容すべきだろう。

3. 読み物

単語表を使って予習してこさせる。クラスでは音読させ、意味を説明し、問答によって理解を確認する。宿題として**ワークブックの内容質問**に答えさせる。

4. 単語

単語表には、各単語にふりがながつけてあり、アクセントも示してあるが、会話や読み物に入る前に、そこに出てくる単語の発音練習をさせておくといよい。

5. 漢字リスト

「書くのを覚える漢字」は、**ワークブックの漢字シート**で書く練習をさせる。「読めればよい漢字」は、その名の通り、読めるようになればよい。書く漢字も、読む漢字も、教師は教室でフラッシュカードを使って読ませながら、意味の理解の定着をはかる。時間の許す限り、漢字テストをするのがよい。ただしテストでは、個々の漢字が書けたり読めたりすることだけを調べても、あまり意味がない。漢字テストの問題は、漢字の意味が分かっているかどうかを調べる問題にすべきである。例えば、「大学の先生のオフィスは〇〇室という」という文を与え、〇〇の中に「研究」と書かせるようにする。こういう問題を作るのは、けっこう時間がかかるが、学生には親切だろう。

6. 漢字の部首

この本では、基本的な部首を導入するに留めたので、このくらいは学生に覚えさせてもいいだろう。「『待(つ)』という漢字はどう書きますか」と聞いて、「『ぎょうにんべん』に『てら』です」と答えさせる程度の練習をするといいと思う。

7. 文法ノート

文法ノートは、自習用に作られている。原則として、次回に教える予定の会話または読み物の範囲に出てくる文法項目を予習させる。また、クラスで例文を音読させて、問答により学生の理解を確かめる必要もあろう。紙面の関係上、例文は一項目あたり3つぐらいに留めたが、少ないと思われる場合は、クラスでの練習の際に適宜補っていただきたい。

文法ノートの項目中、特に練習させたいものは、**別冊のワークブックに「文法練習」**が収められている。文法練習は、クラスでカバーした本文の範囲に合わせて口頭練習をさせたのち、宿題として課し、提出させる。

8. 運用練習

運用練習には、いろいろな教室作業が出てくるので、それを全部同じ日にするのは避け、本文でカバーした内容や機能に合わせて、少しずつ行うようにするとよい。ロールプレイや小グループワークをする場合には、まず質問の練習などをさせてからの方が効果があがる。作文も同様で、例えばアルバイトについて書かせるなら、クラスで話し合いをしてから、宿題として出す。

9. 聞き取り練習

これは、宿題としてCDを聞かせ、問題をやらせておく。クラスでは、答え合わせをするだけでよい。だいたい○×式なので、答え合わせには時間をあまりかけないで済む。○×に関して学生の意見が分かれた時や、内容について質問が出た場合などは、クラスでもう一度CDを聞かせてもよいが、それが癖になると、学生は当然のことながら、宿題をやってこなくなってしまうので、学生を信頼して、クラスでは原則として答え合わせだけにするのがいいだろう。

10. 速読

これは、試験や成績に関係なく、ただ読んで楽しむためのものなので、クラスで読ませ、答え合わせをする。教師は学生の質問には答えるが、教室で音読させるなどの必要はない。

11. ことわざと俳句

ことわざも俳句も、意味を説明して音読の練習をさせ、暗唱させるのがよい。これを試験の範囲に入れるかどうかは、全く担当教師の自由だし、この本のことわざや俳句が気に入らない方は、適当なものと置き換えて下さってもよい。



1

第
だい

課
か

しょう かい 紹 介

初めて人に会う はじ



-
- I A: キャロル・ベーカーともう申します。……………>会話 1
B: ベーカーさんですか。どうぞよろしく。
- II A: こちらは、僕の友達のトム・ブラウン君。……………>会話 2
B: 加藤です。どうぞよろしく。
C: はじめまして。トム・ブラウンです。

C U L T U R E N O T E S

Meeting Someone in Japan

>>>>

When you meet someone in Japan for the first time, you bow as you say either はじめまして or どうぞよろしく, or both. You also exchange 名刺 (cards) if you have them. In Japan, everyone other than children, students or full-time housewives is expected to carry them. Sometimes even university students choose to carry them for prestige.

How low you should bow depends on who you are as well as whom you meet. In general, women tend to bow lower than men, and if you meet a person whose status is higher than yours on the Japanese social scale, you should bow lower than the other person, e.g., your teacher, a friend's parent, etc.

Introducing Oneself or Others

>>>>

Self-introductions occur quite frequently in Japan. At a reception for new students, for example, you may be asked to introduce yourself in Japanese. State your name, the name of your home institution, your major, and end it all with どうぞよろしく and a bow.

When you introduce two people to each other, the rule of thumb is to introduce the person of lower status to the person of higher status. It would be nice to also add a comment or two about each person, as Ikeda does in 会話 2 of this lesson.

How to Address Someone

>>>>

The most common way to address an adult is "last name plus さん," but don't overuse さん! To address people who have titles such as 課長 (section chief), 部長 (department chief), 社長 (company president), etc., use the titles instead of さん. To address teachers, always use 先生. Above all, avoid using あなた. It could be quite insulting. The use of first names is limited in Japan: they are used within a family, by higher-status members addressing lower-status members (e.g., parents addressing children, or older siblings talking to younger siblings), or they are sometimes used among close friends.

復習用の漢字

ふく しゅう よう かん じ

- | | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|---------|
| 1. 一 | 2. 一つ | 3. 二 | 4. 二つ | 5. 三 |
| 6. 三つ | 7. 四 | 8. 四つ | 9. 五 | 10. 五つ |
| 11. 六 | 12. 六つ | 13. 七 | 14. 七つ | 15. 八 |
| 16. 八つ | 17. 九 | 18. 九つ | 19. 十 | 20. 百 |
| 21. 千 | 22. 万 | 23. 円 | 24. 日曜日 | 25. 月曜日 |
| 26. 火曜日 | 27. 水曜日 | 28. 木曜日 | 29. 金曜日 | 30. 土曜日 |
| 31. 四月 | 32. 九月 | 33. 大きい | 34. 小さい | 35. 古い |
| 36. 白い | 37. 早い | 38. 高い | 39. 安い | 40. 忙しい |
| 41. 今 | 42. つくえの上 | 43. へやの中 | 44. いすの下 | 45. 少し |
| 46. 好き | 47. 一年 | 48. 時間 | 49. 五分 | 50. あの人 |
| 51. 日本人 | 52. 日本語 | 53. 英語 | 54. 東京 | 55. 男 |
| 56. 女 | 57. 子 | 58. 父 | 59. お父さん | 60. 母 |
| 61. お母さん | 62. 高校 | 63. 大学 | 64. 勉強 | 65. 先生 |
| 66. 山田 | 67. 名前 | 68. 車 | 69. 会社 | 70. お金 |
| 71. 天気 | 72. 元気 | 73. 毎月 | 74. 毎年 | 75. 行く |
| 76. 来る | 77. 来年 | 78. 食べる | 79. 日本食 | 80. 飲む |
| 81. 見る | 82. 読む | 83. 書く | 84. 話す | 85. 聞く |
| 86. 思う | 87. 入る | 88. 入れる | 89. 出る | 90. 知る |
| 91. 言う | 92. 休む | 93. 使う | 94. 会う | 95. 買う |
| 96. 作る | 97. 持つ | 98. 待つ | 99. 習う | 100. 住む |
| 101. 何 | 102. 友だち | | | |

(読みかたは次のページにあります。)

会 話 >>>>>> 1

かい わ



- 1 ● 高校で二年間日本語を勉強して大学に入ったばかりのキャロル・ベーカーが、日本人会のパーティーで日本語の石山先生に初めて会う。

キャロル： あのう、失礼ですが、石山先生でいらっしゃいますか。

石 山： ええ、石山ですが。

- 5 キャロル： キャロル・ベーカーと申します。

石 山： ベーカーさんですか。どうぞよろしく。

キャロル： よろしくお願ひします。先生、いつからここで教えていらっしゃるんですか。

石 山： 十五年前からですよ。

キャロル： その時に日本からいらっしゃったんですか。

- 10 石 山： ええ、そうです。

キャロル： 先生、日本はどちらからですか。

石 山： 東京です。ベーカーさんは日本へ行ったことがありますか。

キャロル： いいえ、まだです。でも留学したいと思っています。

石 山： 日本語の学生ですか。

- 15 キャロル： はい、日本語は高校で勉強したので、ここの二年のクラスに入れていただきました。

石 山： そうですか。今年の二年のクラスは三田先生ですね。

キャロル： はい、そうです。

石 山： あのクラスは宿題が多いですよ。がんばってください。

- 20 キャロル： はい、がんばります。



1. いち	2. ひとつ	3. に	4. ふたつ	5. さん
6. みつつ	7. よん／し	8. よつつ	9. ご	10. いくつか
11. ろく	12. むつつ	13. なな／しち	14. ななつ	15. はち
16. やつつ	17. きゅう／く	18. ここのつ	19. じゅう／とお	20. ひゃく
21. せん	22. まん	23. えん	24. にちようび	25. げつようび
26. かようび	27. すいようび	28. もくようび	29. きんようび	30. どのようび
31. しがつ	32. くがつ	33. おおきい	34. ちいさい	35. ふるい
36. しろい	37. はやい	38. たかい	39. やすい	40. いそがしい
41. いま	42. つくえのうえ	43. へやのなか	44. いすのした	45. すこし
46. すき	47. いちねん	48. じかん	49. ごふん	50. あのひと
51. にほんじん	52. にほんご	53. えいご	54. とうきょう	55. おとこ
56. おんな	57. こ	58. ちち	59. おとうさん	60. はは
61. おかあさん	62. こうこう	63. だいがく	64. べんきょう	65. せんせい
66. やまだ	67. なまえ	68. くるま	69. かいしゃ	70. おかね
71. てんき	72. げんき	73. まいつき	74. まいとし	75. いく
76. くる	77. らいねん	78. たべる	79. にほんしよく	80. のむ
81. みる	82. よむ	83. かく	84. はなす	85. きく
86. おもう	87. はいる	88. いれる	89. する	90. しる
91. いう	92. やすむ	93. つかう	94. あう	95. かう
96. つくる	97. もつ	98. まつ	99. ならう	100. すむ
101. なに	102. ともだち			

会 話 >>>>> 2



- 1 ● 大学院生の池田が、友達トム・ブラウンをほかの大学院生に紹介する。

池 田： 加藤さん、こちらは、僕の友達トム・ブラウン君。ブラウン君、こちら九月からこの大学院で電気工学を専攻している加藤まゆみさん。

加 藤： 加藤です。どうぞよろしく。

- 5 ト ム： はじめまして。トム・ブラウンです。学部の二年生です。

池 田： ブラウン君、君もテニスが好きだけど、加藤さんもテニスが趣味なんだよ。

加 藤： でも上手じゃありませんよ。

ト ム： 今度一度やりましょうか。

- 加 藤： ええ、ぜひお願いします。ところで、ブラウンさんはどうして日本語が話せるんですか。

ト ム： 一年高校留学してましたし、日本語が専攻ですから。

加 藤： 上手ですねえ。

ト ム： いいえ、まだまだです。

加 藤： 日本に興味を持ったのは、留学した時からですか。

- 15 ト ム： 実は、中学の時、隣に日本人の家族が住んでいて、そこのたけし君っていう男の子といつも遊んでいたんですよ。

加 藤： それで日本に興味を持つようになったんですか。

ト ム： そうなんです。日本語も少し教えてもらったし、日本のビデオもたくさん見せてもらったし。

- 20 池 田： だからブラウン君は、日本文化についても知識豊富なんだ。

ト ム： 「ちしきほうふ」って何ですか。

池 田： いろいろなことを知っているっていうこと。

ト ム： そうでもないけどなあ。

4

会 話 >>>>> 3



- 1 ● アメリカ人ベティー・ピーターソンが、日本へ行く飛行機で隣に座った日本人女性に話しかける。

ベティー： 日本へお帰りですか。

前 田： ええ。

ベティー： ベティーです。どうぞよろしく。

- 5 前 田： 前田あきです。どうぞよろしく。ベティーさんは大学生ですか。

ベティー： 先月卒業したばかりです。前田さんは？

前 田： ニューヨークにある日本の会社に勤めているんですけど、二週間休暇を取って日本へ帰るところなんです。

ベティー： 日本はどちらですか。

- 10 前 田： 京都です。生まれたのも育ったのも京都なんですよ。

ベティー： 私も京都へ行くんですよ。

前 田： えっ、お仕事ですか。

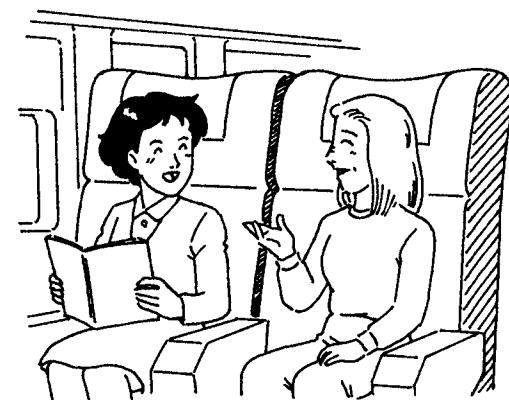
ベティー： ええ、京都で英語を一年教えることになっています。

前 田： そうですか。日本は初めてですか。

- 15 ベティー： 前に一年間留学しました。京都はその時一晩だけ泊まりましたけど、とても気に入りました。

前 田： 私がいる間に、一度うちへ遊びにいらっしやいませんか。両親の所ですけどどうぞ。この名刺に両親の家の電話番号を書いておきますから。

ベティー： どうもありがとうございます。



読み物

>>>>>> 日本人留学生青山弘の日記

あお やま ひろし



1 >>> 05

1 ● 八月二十六日(木)

今日の午後四時ごろ成田を出て、今日の午後四時ごろこの町に着いた。日本から十数時間かかったのに、日本とアメリカの間には日付変更線というものがあるので、同じ日の同じ時間になってしまったのだ。

- 5 空港には、Friends of International Students というグループのメンバーのルーカスさんという人が、迎えに来てくれていた。アパートが見つかるまで、ルーカスさんの家に泊めてもらうことになった。ルーカスさんは、自分をファーストネームで呼んでもらいたいと言うけれども、三十も年上の人なので、どうも「トム」とは呼びにくい。

● 八月二十七日(金)

- 10 ゆうべは、時差ボケでよく眠れなかった。きょうは、ルーカスさんが車でアパートさがしに連れていってくれた。キャンパスの近くには、安くていいアパートがなくて、結局、大学から歩いて二十分ぐらいの所に適当なのを見つけた。月曜日に引っ越すことにした。

● 八月二十八日(土)

- 15 今晚は、ルーカスさんの知人の家のパーティーに連れていってもらった。着いたらすぐ若い男性が話しかけてきた。「ハリスと申します。学部の二年生で、専攻は日本語です。どうぞよろしく」などと、とてもていねいな日本語で、ペラペラ自己紹介されて、びっくりしてしまった。去年日本語のクラスで自己紹介の仕方を習ったので、使ってみたのだそうだ。よさそうな人なので、そのうちまた会うことにして、電話番号をもらっておいた。それから、中年の女性と英語で話した。お互いの家族について話していたら、その人が“I have three beautiful daughters.”と言ったのでびっくりした。
- 10 日本人は「私には美しい娘がいます」なんて、英語でもとても言えないと思う。日本語と英語は、文法だけでなく、考え方もずいぶん違うらしい。アメリカに着いて初めてのカルチャーショックだった。

単語

たん

ご

会話 >>>>> 1

紹介 ^{しょうかい}	introduction	しくお願いします literally means 'I request.'	
初めて ^{はじめて}	for the first time		
1 V たばかり	have just done ~ [>>>文法ノート1]	教える ^{おし}	to teach
2 石山 ^{いしやま}	[family name]	8 ～年前 ^{まへ} から	since ～ years ago
3 失礼 ^{しつれい} ですが	Excuse me (, but...)	13 留学 ^{りゅうがく} する	to study abroad
～でいらっしゃる ^ゝ	[honorific form of です]	17 三田 ^{みた}	[family name]
5 申す ^{もう}	[humble form of 言う]	19 宿題 ^{しゅくだい}	homework
7 よろしくお願 ^{ねが} いします	[more polite way of saying どうぞよろ	多い ^{おおい}	there is/are a lot
		がんばる ^{がんばる}	to do one's best; to try hard

会話 >>>>> 2

1 大学院生	graduate student	5 学部	college; undergraduate
池田	[family name]	6 君	you [It is generally used by male speakers toward someone equal or lower in status.]
友達	friend	趣味	hobby
2 加藤	[family name]	7 (～が) 上手(な)	good (at ～)
僕	I [It is the most neutral form for male speakers.]	8 今度	one of these days
～君	[a form attached to a name in addressing someone. It is used toward someone equal or lower in status.]	一度	once
3 大学院	graduate school	9 ぜひ	by all means
電気工学	electrical engineering	お願いします	Please. [lit., I request.]
(～を) 専攻する	to major (in ～)	ところで	by the way
まゆみ	[female given name]	13 まだまだです	(I am) not good yet.
		14 興味	interest

15 実 ^{じつ} は	actually; in fact
中 ^{ちゅう} 学 ^{がく}	junior high school
隣 ^{となり}	next door; next to
家 ^か 族 ^{ぞく}	family
たけし	[male given name]

16 遊 ^{あそ} ぶ	to play
20 文 ^{ぶん} 化 ^か	culture
知 ^ち 識 ^{しき}	knowledge
豊 ^{ほう} 富 ^ふ (な)	bountiful; plenty

会 話 >>>>> 3

1 飛 ^ひ 行 ^{こう} 機 ^き	airplane
(～に)座 ^{すわ} る	to sit (in/on ～)
女 ^{じょ} 性 ^{せい}	woman
話 ^{はな} しかける	to talk to
2 帰 ^{かえ} る	to go home
3 前 ^{まえ} 田 ^だ	[family name]
5 あき	[female given name]
6 先 ^{せん} 月 ^{げつ}	last month
(～を)卒 ^{そつ} 業 ^{ぎょう} する	to graduate (from ～)
7 (～に)勤 ^{つと} める	to work (for ～); to be employed (at ～)
～週 ^{しゅう} 間 ^{かん}	～ week(s)
休 ^{きゅう} 暇 ^か	vacation
取 ^と る	to take
8 帰 ^{かえ} るところ(だ)	to be returning home 【>>>文法ノート5】

10 (～で)生 ^う まれ ^ら る	to be born (in/at ～) [v.i.]
(～で)育 ^{そだ} つ	to grow up (in ～) [v.i.]
13 ～こと ^{こと} になっ ^な てい ^{てい} る	It has been arranged that ～ 【>>>文法ノート6】
15 一 ^{ひと} 晩 ^{ばん}	one night
泊 ^と まる	to stay (over night) [v.i.]
と ^と ても	very (much)
16 (～が)気 ^き に入 ^い る	to like ～; to be fond (of ～)
17 間 ^{あいだ} に	while; during the time when
両 ^{りょう} 親 ^{しん}	parents [lit., both parents]
所 ^{ところ}	place
18 名 ^{めい} 刺 ^し	(name) card; business card
電 ^{でん} 話 ^わ 番 ^{ばん} 号 ^{ごう}	telephone number

読 み 物 >>>>>

0 青 ^{あお} 山 ^{やま}	[family name]
弘 ^{ひろし}	[male given name]
日 ^{にっ} 記 ^き	diary

2 成 ^{なり} 田 ^た	Narita (International Airport)
町 ^{まち}	town; city
(～に)着 ^つ く	to arrive (at ～)

十 ^{じゅう} 数 ^{すう} 時 ^じ 間 ^{かん}	ten plus a few hours
3 か ^か かる	it takes [with respect to time or money] [v.i.]
日 ^ひ 付 ^{つけ} 変 ^{へん} 更 ^{こう} 線 ^{せん}	International Date Line
同 ^{おな} じ	same
5 空 ^{くう} 港 ^{こう}	airport
6 迎 ^{むか} える	to welcome; to meet; to greet
見 ^み つかる	～ is found [v.i.]
7 泊 ^と める	to have ～ stay (over night) [v.t.]
～こと ^{こと} になっ ^な た	it has been decided/ arranged that ～ 【>>>文法ノート6】
自 ^じ 分 ^{ぶん}	oneself
フア ^ふ ーストネ ^お ーム	first name
(～を…で)呼 ^よ ぶ	to call ～ by . . .
8 年 ^{とし} 上 ^{うえ}	older
ど ^ど うも	somehow; no matter how hard one may try
～に ^に く ^く い	hard to ～; difficult to ～ 【>>>文法ノート8】
10 時 ^じ 差 ^さ ボ ^ぼ ケ	jet lag
眠 ^{ねむ} る	to sleep
ア ^あ パ ^ぱ ートさ ^さ がし	apartment hunting
11 連 ^つ れてい ^い く	to take someone to
近 ^{ちか} く	nearby; in the neighborhood
結 ^{けつ} 局 ^{きよく}	finally; in the end
12 歩 ^{ある} く	to walk
適 ^{てき} 当 ^{とう} (な)	appropriate; suitable
見 ^み つけ ^る	to find ～ [v.t.]

引 ^ひ っ越 ^こ す	to move to a new place of residence
～こと ^{こと} に ^に す ^す る	to decide to ～ 【>>>文法ノート9】
15 今 ^{こん} 晩 ^{ばん}	tonight
知 ^ち 人 ^{じん}	acquaintance
Vたら	when V 【>>>文法ノート10】
16 若 ^{わか} い	young
男 ^{だん} 性 ^{せい}	man; male
17 ていね ^{てい} い(な)	polite
ペ ^ぺ ラペ ^ぺ ラ	fluently
自 ^じ 己 ^こ 紹 ^{しょう} 介 ^{かい}	self-introduction
びっ ^び く ^く り ^り す ^す る	to be surprised
18 去 ^{きょ} 年 ^{ねん}	last year
仕 ^し 方 ^{かた}	way (of doing something)
19 その ^{その} う ^う ち	before long; one of these days
20 そ ^そ れ ^れ か ^か ら	and then; after that
中 ^{ちゅう} 年 ^{ねん}	middle-aged
お ^お 互 ^{たが} い	each other
22 美 ^{うつく} しい	beautiful
娘 ^{むすめ}	daughter
と ^と ても～ ^{ない} ない	can't possibly ～ 【>>>文法ノート11】
23 文 ^{ぶん} 法 ^{ぽう}	grammar
考 ^{かん} え ^が 方 ^{かた}	way of thinking 【>>>文法ノート12】
ず ^ず い ^い ぶ ^ぶ ん	quite a lot
違 ^{ちが} う	to differ; to be different
～ら ^ら しい	it seems that ～; evidently 【>>>文法ノート13】
24 カ ^か ル ^る チャ ^{チャー} ーシ ^シ ョ ^ョ ック	culture shock

漢 字 リ ス ト

書くのを覚える漢字

読み方を覚えましょう。また、書けるようになるまで練習しましょう。

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|---------|
| 1. 初めて | 2. 石山 | 3. 失礼 | 4. 申す | 5. お願い |
| 6. 教える | 7. 前 | 8. 留学 | 9. 今年 | 10. 三田 |
| 11. 多い | 12. 大学院生 | 13. ブラウン君 | 14. 電気工学 | 15. 専攻 |
| 16. 学部 | 17. 君も | 18. 上手 | 19. 今度 | 20. 時 |
| 21. 実は | 22. 中学 | 23. 文化 | 24. 女性 | 25. 帰る |
| 26. 取る | 27. 生まれる | 28. 私 | 29. 仕事 | 30. 泊まる |
| 31. 気に入る | 32. 間 | 33. 所 | 34. 家 | 35. 電話 |
| 36. 日記 | 37. 成田 | 38. 町 | 39. 着く | 40. 同じ |
| 41. 自分 | 42. 近い | 43. 歩く | 44. 月曜日 | 45. 男性 |
| 46. 去年 | 47. 仕方 | 48. 美しい | 49. 文法 | 50. 考え方 |

読めればいい漢字

読み方を覚えましょう。

- | | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|---------|
| 1. 紹介 | 2. 宿題 | 3. 池田 | 4. 友達 | 5. 加藤 |
| 6. 僕 | 7. 趣味 | 8. 興味 | 9. 隣 | 10. 家族 |
| 11. 遊ぶ | 12. 知識豊富 | 13. 飛行機 | 14. 座る | 15. 卒業 |
| 16. 勤める | 17. 週間 | 18. 休暇 | 19. 京都 | 20. 育つ |
| 21. 一晩 | 22. 両親 | 23. 名刺 | 24. 番号 | 25. 今日 |
| 26. 午後 | 27. 十数時間 | 28. 日付変更線 | 29. 空港 | 30. 迎える |
| 31. 呼ぶ | 32. 時差 | 33. 眠る | 34. 連れる | 35. 結局 |
| 36. 適当 | 37. 引っ越す | 38. 若い | 39. 自己 | 40. お互い |
| 41. 娘 | 42. 違う | | | |

漢字の部首

人
にんべん

イ

This radical comes from 人 and is used for characters representing human conditions, activities, etc.

「休」「作」「使」など

文法ノート

1 >>> V (plain past) ばかり = 'have just done something; have just finished doing something'

[会話1 > 1.1 >>> 大学に入ったばかり]

[会話3 > 1.6 >>> 卒業したばかり]

- a) 大学に入ったばかりだから、十八歳^{さい}でしょう。
(Since she has just entered college, she is probably 18.)
- b) 食べたばかりだから、おなかがいっぱいです。
(I have just eaten, so I am full.)
- c) 日本へ行ったばかりのころは、日本語がわからなくて困^{こま}りました。
(When I was a newcomer to Japan, I had trouble understanding Japanese.)

2 >>> あの

[会話1 > 1.19 >>> あのクラスは…]

Both あの and その can be used with the meaning 'that ~' when an item you are referring to is not in sight. あの is used when both the speaker and the hearer are (or are assumed to be) familiar with a person or thing in question. When only the speaker or the hearer is familiar with an item, その should be used. In this passage, the use of あの indicates that both 石山先生 and キャロル are familiar with the class.

- a) A: 私が生まれたのは高山^{まち}という町です。
(The town I was born in is called Takayama.)
B: その町はどんな町ですか。
(What kind of town is that?)
- b) A:きのう、去年^{きょねん}日本語のクラスにいたライルさんに会いましたよ。
(Yesterday, I met Lyle-san, who was in our Japanese class last year.)
B: ああ、あの^{きょねん}人、どうしていますか。
(Oh, how is he [= that person] doing?)

3 >>> V (plain) ようになる

[会話2 > 1.17 >>> 興味を持つようになった]

This pattern indicates a change which has taken place or will take place. Just as い-adjective changes to -く (e.g., 安くなる) and な-adjective to -に (e.g., しずかになる), when a verb occurs with なる, ように is inserted.

- a) 日本へ行ってから、日本に興味^{きょうみ}を持つようになりました。
(I came to have an interest in Japan after I went to Japan.)
- b) 漢字^{かんじ}を勉強しなければ、日本語の新聞^{しんぶん}が読めるようにはなりません。
(Unless you study kanji, you won't become able to read Japanese newspapers.)
- c) このごろアメリカ人もさしみやとうふを食べるようになりました。
(These days Americans also eat sashimi and tofu [and this is a change].)

4 >>> ~なあ

[会話2 > 1.23 >>> そうでもないけどなあ]

This is a sentence-final particle of exclamation. It is generally used to state one's feeling emphatically or one's wish emotively.

- a) 困^{こま}ったなあ。
(I don't know what to do!)
- b) 一度アフリカへ行ってみたいなあ。
(I wish I could go to Africa once!)

This expression has a flavor of "monologue" — *i.e.*, saying something without an addressee in mind. When it is said with an intention of getting a response from an addressee, ~なあ tends to be restricted to men.

- c) ひさしぶりだなあ。
(Long time no see!)
- d) お前^{まえ}よくやったなあ。
(You did WELL!)

5 >>> V (plain present) ところ

[会話3 > 1.8 >>> 帰るところなんです]

[V (plain present) ところ] means 'about to do something.'

- a) ちょうどこれから食^{しよくじ}事をするところなんです、いっしょにどうですか。
(I am about to eat right now, so why don't you join me?)
- b) 今ちょうど出^でかけるところなので、あとで電^{でんわ}話をします。
(I am about to go out, so I will call you later.)

The meaning of ~ところだ varies, depending on the tense of the verb. When V is in the past tense, it means 'have/has just done something'; when V is in the progressive as in Vているところだ, it means 'am/are/is in the process of doing something.' Compare the following sentences:

- c) これから食^くべるところです。
(I am about to eat.)
- d) 今食^あべたところだから、おなかはすいていません。
(I have just eaten, so I am not hungry.)
- e) 今食^くべているところだから、もう少し待^{まち}って下さい。
(I am [in the midst of] eating right now, so please wait a little.)

(※絵を入れて例文を入れる)



食^くべるところです



食^あべたところです



食^くべているところです

6 >>> V (plain) ことになっている = 'be expected/supposed to; it is a rule/custom that ~'

[会話3 > 1.13 >>> 教えることになっています]

V (plain) ことになった = 'it has been decided/arranged that ~'

[読み物 > 1.7 >>> 泊めてもらうことになった]

ことになっている／ことになった indicates that a certain decision has been made for the speaker by outside forces. Use ことになっています when you want to talk about your future plan, which has been already arranged. Use ことになりました when you are reporting a certain decision or arrangement which has been made. In both cases, you are presenting a decision or a plan as something which was beyond your personal control. Moreover, ことになっている is also often used to describe a rule, regulation or social custom, as in examples e) and f).

- a) 日本で英語^{おし}を教えることになっています。
(I am to teach English in Japan.)
- b) あした先生に会^あうことになっています。
(I am supposed to meet my teacher tomorrow.)
- c) 日本の会社で仕^し事^{ごと}をすることになりました。
([It has been arranged that] I will be working at a Japanese company.)
- d) 来年結^{けっこん}婚することになりました。
([It has come about that] I will get married next year.)
- e) 日本の家^あに上^あがる時は、くつをぬぐことになっています。
(When you enter a Japanese house, you are supposed to take off your shoes.)
- f) 教室^{きょうしつ}では日本語で話^わすことになっています。
(You are supposed to speak Japanese in the classroom.)

7 >>> N (or NP) は初めてです

[会話3 > ㉒.14 >>> 日本は初めてですか]

This expression requires that you are in a relevant situation. It is appropriate, therefore, to say a)-B in a Japanese restaurant.

- a) A: おすしを食べたことがありますか。
(Have you had sushi before?)

B: いいえ、おすしは初めてです。
(No, this is the first time.)

This cannot be said, however, when you are discussing Japanese food in a classroom. In that case, you should say b)-B.

- b) A: おすしを食べたことがありますか。
(Have you ever had sushi before?)

B: いいえ、ありません。
(No, I haven't.)

8 >>> V (stem) にくい

[読み物 > ㉒.8 >>> 「トム」とは呼びにくい]

[V (stem of ます-form) にくい] means that something is difficult to V.

- a) ステーキは、おはしでは食べにくい。
(Steaks are difficult to eat with chopsticks.)

- b) 難しい漢字は、書きにくい。
(Difficult kanji are hard to write.)

cf. [V (stem) やすい] means that something is easy to V.

- c) きれいな字は、読みやすいです。
(Nice handwriting is easy to read.)

9 >>> V (plain) ことにする = 'decide to do ~'

[読み物 > ㉒.12 >>> 引っ越すことにした ㉒.19 >>> 会うことにして]

Compared with ことになる, this pattern indicates active decision making by the person involved.

- a) 来年日本へ行くことにしました。
(I have decided to go to Japan next year.)

- b) 毎日 CD を聞くことにしました。
(I have decided to listen to CD's every day.)

10 >>> S₁たら、S₂ = 'When S₁, S₂'

[読み物 > ㉒.15 >>> 着いたら ㉒.21 >>> 話していたら]

When たら clause is followed by a sentence (= S₂) in the past tense, it means 'when.' The second sentence usually expresses an event or state you did not expect.

- a) きの日図書館へ行ったら、先生に会いました。
(Yesterday, when I went to the library, I saw my teacher.)

- b) 日本の家族へのおみやげを買ったら、「Made in Japan」と書いてあった。
(I bought a present for my Japanese family, and I found that it was made in Japan [, and I was surprised].)

This should be distinguished from the case of V たら followed by the present tense form, as in 日本へ行ったら、日本語が話せるようになるでしょう. This is the case of so-called "conditional" use of たら, and it means 'if you go to Japan' or 'When you go to Japan.'

11 >>> とても～ない = 'can't possibly'

[読み物 > ㉒.22 >>> とても言えない]

This phrase expresses a very strong sense of impossibility. The verb is usually in potential form.

- a) たくさんあって、とても食べ切れません。
(There is so much that I can't possibly eat it all.)

- b) 東京ではとても家なんか買えません。
(I can't possibly buy a house in Tokyo.)

12 >>> ～方 = 'way of ~ing'

[読み物 > ㉒.23 >>> 考え方]

[V (stem of ます-form) + 方] expresses 'the way of doing something.'

- a) 漢字は、一つのものにも読み方がたくさんあるので、難しい。
(Kanji are difficult because [even] one kanji [often] has a number of readings.)

- b) おはしの持ち方を教えてください。
(Please teach me how to hold chopsticks.)

13 >>> ～らしい = 'it seems that; evidently'

[読み物 > ㉒.23 >>> 違らしい]

～らしい expresses one's conjectures. It can be attached to nouns (e.g., 日本人らしい), stems of な-adjectives (e.g., しずからしい), plain forms of い-adjectives (e.g., 安いらしい) and plain forms of verbs (e.g., 行くらしい). It tends to be used when one's conjecture is based on what one has heard.

- a) 日本人は、熱いお風呂が好きらしい。
(It seems that the Japanese people like hot baths.)
- b) 東京は、物価が高くて、住みにくいらしい。
(It seems that Tokyo is a difficult place to live in because everything is expensive.)
- c) アメリカでは、学生が先生をファーストネームで呼ぶらしい。
(Evidently, students call teachers by their first names in America.)

14 >>> **Vて初めてのN=‘the first N after V-ing’** [読み物 > 2.23 >>> 着いて初めてのカルチャーショック]

- a) アメリカに着いて初めてのカルチャーショックだった。
(It was my first culture shock after arriving in America.)
- b) 学校が始まって初めてのピクニックで、先生やほかの学生におおぜい会った。
(I met many teachers and students at the first picnic of the semester.)

When a verb occurs instead of a noun, this expression takes the form of V₁て初めて V₂, meaning ‘When V₁ happens, then for the first time V₂ happens.’

- c) 日本へ行って初めて、一日中日本語だけで話しました。
(When I went to Japan, I spent a whole day speaking only in Japanese, for the first time in my life.)
- d) 大学に入って初めて、日本人に会いました。
(When I entered college, I met a Japanese for the first time. [i.e., I had never met a Japanese until I entered college.])

（ 会話練習のポイント ）
かい わ れん しゅう

a) >>> 紹介 >>>>> [会話1]

キャロル： あのうち、石山先生でいらっしゃいますか¹。
石山： ええ、石山ですが²。（はい、そうですが。）
キャロル： キャロル・ベーカーと申します。
石山： ベーカーさんですか。どうぞよろしく。
キャロル： よろしくお願ひします。

- 1: でいらっしゃいますか is an honorific form of です. This is different from いらっしゃいますか, which is an honorific form of いますか.
- 2: Native Japanese speakers often end a sentence with 〜が (but ...). This suggests that something more might follow and hence gives a softer tone to the conversation, thus making it more polite than a sentence without が.

b) >>> 初めて会う人と話す >>>>> [会話2]

田中： ところで³、トムが日本語に興味を持ったのは、最近ですか。
トム： 実は⁴、中学の時日本のアニメが好きで、よく見ていたんです。
田中： ああ、それで⁵日本語を勉強したいと思うようになったんですね。
トム： ええ、そうなんです。高校で勉強して、一年高校留学もしました。
田中： ああ、だから⁵トムは日本語が上手なんですね。

- 3: ところで is used to change the topic of a conversation.
- 4: 実は is used to bring up an important point or information.
- 5: Try to use connectives such as それで and だから to get more information from a conversation partner and in general to have a smooth conversation.

（ 運用練習 ）
うん よう れん しゅう

1 >>> 自己紹介

- クラスの人に自己紹介しなさい。自己紹介には、次のことを忘れないこと。

- a) 名前
- b) 学年

c) 日本へ行ったことがあるか、ないか（あるなら、いつ、どうして）

d) 専攻

e) 趣味

f) 終わりの言葉

[例] ハリスと申します。学部^{がくぶ}の二年生です。日本へはまだ行ったことがありませんが、来年^{りゅうがく}留学したいと思っています。専攻は日本語です。趣味はテニスと音楽^{おんがく}です。どうぞよろしくお願^{ねが}いします。

2 >>> ペアワーク

a) ペアになって、お互^{たが}いにどうして日本に興味^{きょうみ}を持つようになったかを聞きなさい。

b) 聞いたことをクラスの人たちに報告^{ほうこく}（report）しなさい。

3 >>> ロールプレイ

● ペアになりなさい。一人は日本語の学生、もう一人は日本語の先生で、大学のパーティーで初めて会いました。この課の会話1のような会話をしなさい。学生になった人は、自己紹介^{じこしょうかい}をしながら、先生のこといろいろ聞きなさい。

4 >>> ペアワーク

a) ペアになって、生まれ^うれた所^{ところ}、育^{そだ}った所について聞きなさい。

b) 聞いたことをクラスの人たちに報告^{ほうこく}しなさい。

5 >>> ペアワーク

● ここにあるのは、名刺^{めいし}のサンプルです。この名刺をくれた人は、どんな人でしょうか。ペアになって、次^{つぎ}の質問^{しつもん}に答^{こた}えなさい。

三田町商事株式会社
営業部部長

林 太郎

〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目5番4号
TEL: (03)4567-8910 FAX: (03)4567-7777
E-mail: hayashi@mitamachi.co.jp

a) この人の名前は何ですか。

b) この人の仕事はどんな仕事でしょうか。

c) この人の会社はどこにありますか。

d) この人の電話番号は何番ですか。

商事（しょうじ） 株式会社（かぶしきがいしゃ）
営業部（えいぎょうぶ） 部長（ぶちょう）

海岸大学
文学部英文科

教授 田中 花子

勤務先 〒251-0000 神奈川県藤沢市海岸1-2
Tel: (0466)77-8899 Fax: (0466)77-7777
自 宅 〒226-0000 神奈川県横浜市緑区青葉3-2-1
Tel/Fax: (045)045-0450

e) 田中さんはどんな仕事をしていますか。

f) 田中さんの勤めている所は、どこにありますか。

g) 田中さんの家はどこにありますか。

h) 田中さんの家の電話番号は何番ですか。

文学部（ぶんがくぶ） 教授（きょうじゅ）
勤務先（きんむさき） 自宅（じたく）

6 >>> 作文

● 自分を紹介する作文を書きなさい。長さは百字ぐらい。



● アメリカ人学生が自己紹介しています。CDを聞いて、次^{つぎ}の文^{ぶん}が正^{ただ}しければ○、間違^{まちが}っていれば×を入れなさい。

☐ a) この人は大学院生です。

☐ b) 日本語を専攻しています。

☐ c) 日本へ行ったことがあります。

☐ d) 高校のとき、日本に留学しました。

☐ e) 大学に入ってから、日本に興味を持つようになりました。

☐ f) 卒業したら日本へ行くでしょう。

☐ g) 黒沢（name of a Japanese film director）の映画^{えいが}はたくさん見ました。

☐ h) 日本語を勉強したことはありません。

☐ i) 日本語はやさしくないと思っています。

☐ j) 日本語は覚え^{おぼ}えられると思っています。

「ノー・サンキュー」

これは、日本から来たばかりの留学生山下君が、初めてアメリカ人の家へ行った時の話です。ケラーというそのアメリカ人は、山下君のお父さんの友達で、山下君はお父さんから頼まれた手紙と小さなプレゼントを届けに行ったのです。その日は、八月の末で、ずいぶん暑い日でした。大学から十分ぐらい歩いて、ケラーさんのアパートに着きました。ケラーさんに「どうぞお入りなさい」と言われて、山下君は部屋に入りました。自己紹介が終わって、手紙とプレゼントを渡すと、ケラーさんは「コカコーラなんかどうですか」と聞きました。山下君はのどがかわいていて、何か冷たいものを飲みたかったけれど、「はい、飲みたいです」と答えるのは失礼だろうと思ったので、“No, thank you.”と答えました。もちろん、ケラーさんがもう一度聞いてくれるだろうと思ったからです。ところが、ケラーさんは「オーケー」と言うだけで、すぐ山下君のお父さんのことをいろいろと聞きはじめました。家族のことや、自分の勉強のことを一時間ぐらい話してから、山下君はケラーさんのアパートを出ました。のどは、まだかわいたままでした。山下君はその日、アメリカでは「ノー」は「ノー」なのだ、ということを知ったのです。

● 次の文を読んで、正しければ○、間違っていれば×を入れなさい。

- ☐ a) ケラーという人は、山下君の友達です。
- ☐ b) 山下君のお父さんがケラーさんに書いた手紙は、山下君が日本から持ってきたのでしょうか。
- ☐ c) 山下君がアメリカに着いたのは、夏でした。
- ☐ d) 山下君は、ケラーさんの家まで、車で行きました。
- ☐ e) ケラーさんは、「コカコーラかなんかどうですか」と二度聞きました。
- ☐ f) ケラーさんは、コカコーラを出してくれました。

しっぱい せいこう
失敗は成功のもと
(lit., Failure is the basis for success.)

第

7

課

レクリエーション

人を誘う

さそ



- ◆ (野球の) 試合を見に行くんですけど、
みんなで行きませんか。……………>会話 1
- ◆ グラントさんもどうですか。
- ◆ 一緒に行かない? ……………>会話 3
- ◆ 見に行こうよ。

人に誘われる



- ◆ ご一緒させてください。……………>会話 1
- ◆ ええ、僕も喜んで。
- ◆ 私はちょっと……。
- ◆ 残念ですけど、またいつかお願いします。
- ◆ じゃ、楽しみにしています。……………>会話 2

How to Decline an Invitation

>>>>

Japanese people are known for being indirect and vague about declining invitations. When they cannot accept an invitation, they, as a rule, do not say いいえ, because they feel that it would be too curt. They prefer expressions such as その日はちょっと……, meaning “That day is a bit” Since the word for *inconvenient* is often left out, one is expected to guess what is implied. Guessing, however, is not as difficult as it might sound, for, after all, Xはちょっと…… is not only a standard expression, but is always accompanied by a reluctant tone of voice as well as a facial and bodily expression of regret.

Respect for the Aged

>>>>

In 会話 1, there is a brief mention of a special occasion called 古稀^{こき}, a celebration held on someone's 70th birthday. In addition to 古稀, other birthdays singled out for special celebration are: 60th, 77th, 80th, 88th, 90th and 99th. Currently, Japan enjoys the top longevity rate in the world; one therefore often hears about these birthdays being celebrated in Japan.

Akihabara

>>>>

Akihabara (sometimes shortened to Akiba) is located less than 5 minutes by train from Tokyo Station. It is well-known for its hundreds of electronic shops, and you can get good deals on anything from a TV, camera, computer, to electronic parts and software. In recent years, moreover, it has become famous worldwide as a mecca of pop culture, including games, *manga* and *anime*. Akihabara has also become strongly associated with the so-called *otaku* culture. *Otaku* refers to people who have obsessive interest in one particular thing, notably *manga* and *anime*. In Akihabara, you can see new types of cafés which cater to *Otaku*, such as メイド喫茶^{きょっさ}, where waitresses dressed in western-style maid uniforms serve food. There are also マンガ喫茶, where customers can read *manga* and watch DVD's, etc., but this does not seem to be limited only to Akihabara anymore.

会 話 >>>> 1



1 ● 日本語の小林先生が、クラスの学生たちを野球の試合に誘っている。

小林(女): 来週の金曜日の晩、ドラゴンズとジャイアンツの試合を見に行くんですけど、
みなで行きませんか。佐藤先生も今井先生もいらっしゃるそうですよ。

ジェイソン: 僕も行きたいけど、いくらですか。

5 小 林: 安い席ならそんなに高くありませんよ。ひとり 1,500 円ぐらいだと思いますけど。

ジェイソン: それじゃご一緒させてください。

小 林: グラントさんもどうですか。

ビ ル: ええ、僕も喜んで。僕は高校の時、野球のチームに入ってピッチャーやって
10 たんですよ。

小 林: へえ。すごいですね。ラーセンさんは?

スーザン: 私はちょっと……。

小 林: 野球はきらいですか。

スーザン: いいえ、でもその日の晩は、ホストファミリーのお母さんのお父さんの、七十
15 歳のお祝いがあるので。

小 林: ああ、古稀^{こき}のお祝いですね。それじゃ仕方ないですね。

スーザン: ええ、残念ですけど、またいつかお願いします。

小 林: じゃあ、また今度ね。



会 話 >>>>>> 2



- 1 ●東京のある会社の課長である山田に英会話を教えているスティーブ・ホワイトが、山田の家で、一緒に音楽を聞いている。
- ホワイト： このスピーカー、いい音しますね。どこのメーカーですか。
- 山 田： 実は、私が作ったんですよ。
- 5 ホワイト： えっ、ご自分で？ すごいですね。
- 山 田： いやいや、大したことないですよ。
- ホワイト： 作るのに時間かかったでしょうね。
- 山 田： いや、部品を買ってきて、自分で組み立てただけですけど。
- ホワイト： へえ。ほんとにいい音ですよ。僕もこんなスピーカー欲しいなあ。
- 10 山 田： 自分で作る方が買うよりずっと安いし、いいものができますよ。
- ホワイト： そうなんですか。部品はどこで手に入れるんですか。
- 山 田： 私はいつも秋葉原に行って買うんです。
- ホワイト： 秋葉原ですか。
- 山 田： ええ、今の若い人にとって、秋葉原はアニメなんかで有名だけれど、秋葉原
- 15 は何と言っても昔から電気街として知られていますからね。
- ホワイト： そうなんですか。それで電気部品の専門店もたくさんあるんですね。
- 山 田： ええ。よかったら、今度の日曜日、一緒に行きませんか。
- ホワイト： はい、ぜひご一緒させてください。
- 山 田： 秋葉原までどうやって行くか分かりますか。
- 20 ホワイト： はい、前に一度友達と行ったことがあります。東京駅から山手線で二つ目でしたっけ？
- 山 田： 2そうです。京浜東北線の快速に乗ると次の駅ですけど。私はその日の午前用事があるので、一時にJRの秋葉原駅で待ち合わせでいいですか。
- ホワイト： 分かりました。たしか、秋葉原の駅は出口がいくつかあったと思うんですけど。
- 25 山 田： ええ、少し分かりにくいですよ。ええと、じゃ、中央改札口にしましょうか。
- ホワイト： はい、じゃ、一時に中央改札口を出たところにいるようにします。
- 山 田： ええ。じゃ、そうしてください。
- ホワイト： じゃ、楽しみにしています。

会 話 >>>>>> 3



- 1 ●ジェイソン、友人の大山健一に映画に誘われる。
- 健 一： 明日の晩、映画に行こうと思ってるんだけど、一緒に行かない？
- ジェイソン： 何の映画。
- 健 一： 黒沢って知ってる？
- 5 ジェイソン： 映画監督の？
- 健 一： うん、そう。
- ジェイソン： 黒沢の映画なら、「乱」とか「影武者」とか、二、三本アメリカで見たけど。
- 健 一： そんなんじゃないくて、もっと古いのは？ 「羅生門」とか「七人の侍」なんか。
- ジェイソン： 全然聞いたことないなあ。
- 10 健 一： そんならよかった。明日の晩、オリオン座で「七人の侍」をやるから、見に行こうよ。
- ジェイソン： 何時。
- 健 一： 八時からだけど、ノーカットだから、終わるのは十一時半ごろになるかもしれない。
- 15 ジェイソン： 困ったなあ。
- 健 一： どうして。金がないの？
- ジェイソン： そうじゃなくて、時間がないんだ。あさっての朝一時間目に日本語の試験があるから、明日の晩は勉強しようと思ってたんだよ。
- 健 一： そんなら今晚勉強しとけば？ 僕だって、あさっての朝出さなきゃならないレポートがあるから、今晚徹夜で書きちゃおうと思ってるんだ。
- 20 ジェイソン： そう、じゃ、僕も今晚勉強するよ。
- 健 一： 「七人の侍」なんてめったにやらないんだから、来た時に見なきゃ。
- ジェイソン： うん、じゃ、行く。それで、どこで会う。
- 健 一： オリオン座知ってる？
- 25 ジェイソン： うん、前に一度行ったから。
- 健 一： じゃ、七時半にオリオン座の前で会おう。きっとたくさん並んでると思うけど、三十分前に行けば、だいじょうぶだね。
- ジェイソン： 七時半にオリオン座の前だね。じゃ、また。
- 健 一： じゃ。

読み物

日本のスポーツ

1
36

1 日本人はスポーツが好きで、いろいろなスポーツが盛んだが、一番人気のあるスポーツの一つは、野球だろう。

5 アメリカではあまり知られていないことだが、日本に野球が入ったのは、今から百三十年以上も前の一八七二年のことだった。日本人に初めて野球を紹介したのは、ウィルソンというアメリカ人だったと言われている。一八九〇年ごろになると、野球をする人は、もうかなり多くなっていた。「ベースボール」ではなくて、「野球」という日本語が使われ始めたのも、そのころだった。

10 一九一〇年ごろから、日本の大学野球チームが、ときどきアメリカへ出かけて試合をするようになり、アメリカからも、ワシントン、シカゴ、ウィスコンシンその他の大学チームが日本へ遠征するようになった。

15 一九三〇年代の前半に、アメリカのプロ野球のチームが日本を訪問したことがある。そのチームには、ベーブルースも入っていた。その時、日本では、いい選手を集め

てチームを作り、アメリカ・チームと試合をしたが、何度

戦つても簡単に負けてしまった。しかし、一度だけ、沢村という若いピッチャーが投げた時、負けたことは負けたが、

ベーブルースを始め、有名なバッター数人に三振をさせて、たちまち日本のヒーローになった。その後まもなく、日本でもプロ野球が始まった。

一九四一年から四五年までの太平洋戦争の間、野球はほとんど忘れられていた。沢村選手も戦死した。しかし、戦争が終わると、日本人はすぐ野球を始めた。今では、学生野球もプロ野球も、なかなか盛んである。プロ野球には、リーグが二つあり、それぞれ「セントラル・リーグ」「パシフィック・リーグ」と呼ばれている。秋になると、両リーグを通しての日本一を決める試合が行われる。近年では、日本のプロ野球のレベルも上がってきていて、アメリカの大リーグで活躍する選手も増えてきている。

また、日本では高校野球が盛んである。毎年八月には、

35 全国から県や地域の予選で優勝したチームが、兵庫県の甲子園という野球場に集まり、二週間ぐらいのトーナメント

40 をする。甲子園での大会は全試合がテレビで放映され、日本中の人がそれを見ながら、自分たちの県や地域のチームを応援する。野球をしている高校生にとって、甲子園大会に出場するというのは大変名誉なことで、卒業後にプロ選手になる者も少なくない。

欧米から入ったスポーツでは、野球のほかにサッカーが特に盛んである。一九九三年にJリーグというプロサッ



博物館に展示されている、日米野球のポスター
(写真提供：(財)野球体育博物館)



人気の高い大相撲 (写真提供：共同通信社)

カーのリーグが始まってから、人気が高まった。サッカーの日本代表チームの国際試合も、日本中の関心を集めている。

45 伝統的なスポーツで一番人気があるのは、何と言っても大相撲だろう。大相撲は、プロの力士によって行われている相撲である。最近ではモンゴル、東ヨーロッパ出身の力士も多くなってきた。こういう外国人力士が皆、日本語を上手に話せるのは面白いことである。

単語

会話 >>>> 1

レクリエーション	recreation	5 席	seat
誘う	to invite (someone to do something with the speaker)	7 一緒	together
1 小林	[family name]	9 喜んで	gladly; with pleasure
野球	baseball	チーム	team
試合	game	ピッチャー	pitcher
2 ドラゴンズ	Dragons [name of a baseball team]	11 すごい	Great!
ジャイアンツ	Giants [name of a baseball team]	14 ～歳	～ years old
		15 お祝い	celebration
		17 残念	regret; regrettable

会話 >>>> 2

1 課長	section chief	昔	the past; the old days
3 音	sound	電気街	electronic store district
メーカー	manufacturer; maker	20 山手線	[name of a train line]
6 大したことない	not too good; not great	二つ目	second
8 部品	parts	22 京浜東北線	[name of a train line]
組み立てる	to assemble; to put together	快速	rapid train or bus
9 欲しい	to want	23 用事	errand; things to do
11 手に入れる	to obtain	J R	Japan Railways
12 秋葉原	[place name]	待ち合わせ	to arrange to meet
15 何と言っても	undeniably; no doubt; by any account [lit., no matter what others may say] >>> 文法ノート1	24 出口	exit
		いくつか	a few
		25 中央改札口	central ticket gate

26 ～ようにする to try to ～; to make an effort to ～ >>> 文法ノート3

28 (～を)楽しみにしています to be looking forward (to ～)

会話 >>>> 3

1 映画	movie	19 ～とけば	[contraction of ～ておけば]
2 明日	tomorrow	僕だって	I, also [=僕も]
4 黒沢	[family name]	～なきゃならない	have to ～ [contraction of ～なければならぬ]
5 監督	movie director	20 レポート	report; paper
7 乱、影武者、羅生門、七人の侍	[movie names = 映画の名前]	徹夜	staying up all night
8 侍	samurai	22 めったに～ない	rarely
N なんか	= N など	26 きっと	for sure; surely
10 オリオン座	[name of a movie theater]	並ぶ	to stand in line [v.i.]
13 ノーカット	uncut		

読み物 >>>>

1 盛ん(な)	thriving	16 選手	player selected for a team [usually athletic]
2 人気がある	popular	17 集める	to gather [v.t.]
7 かなり	fairly	18 何度～ても	no matter how many times ～ >>> 文法ノート6
9 V(stem) 始める	to begin V-ing >>> 文法ノート4	戦う	to fight; to compete
12 その他	and others	負ける	to lose (a game) [v.i.]
13 遠征する	to visit a far-away place to compete in sports	19 沢村	[family name]
14 三〇年代	the thirties	投げる	to pitch
前半	first half	20 ～を始め	starting with ～; including ～ >>> 文法ノート7
プロ野球	professional baseball		
15 訪問する	to visit		

20	バッター	batter
	ずうにん 数人	several people
	さんしん 三振	strike-out
21	たちまち	instantly
	ヒーロー	hero
	まもなく	not much later; soon
23	たいへいようせんそう 太平洋戦争	Pacific War
	ほとんど	almost
24	せんし 戦死する	to die in battle
27	リーグ	league
	セントラル・リーグ	Central League
	パシフィック・リーグ	Pacific League
28	りょう 両～	both～
29	きんねん 近年	in recent years
30	あ 上がる	to rise [v.i.]
31	かつやく 活躍する	to play an active part in
33	ぜんこく 全国	the entire nation
	けん 県	prefecture
	ちいき 地域	region
	ゆうしょう 優勝	championship

33	ひょうごけん 兵庫県	Hyogo Prefecture
	こうしえん 甲子園	[name of a baseball stadium]
34	やきゅうじょう 野球場	baseball stadium
	あつ 集まる	to gather [v.i.]
	トーナメント	tournament
35	たいかい 大会	(big) tournament
	ほうえい 放映する	to televise
37	おうえん 応援する	to cheer for
38	めいよ 名誉(な)	honorable
40	おうべい 欧米	West [lit., Europe and America]
	～のほか	besides～
42	たか 高まる	to increase [v.i.]
43	かんしんあつ 関心を集める	to gain interest
45	でんとうてき 伝統的(な)	traditional 【>>>文法ノート9】
46	おおずもう 大相撲	the professional sumo
	りきし 力士	sumo wrestler
	～によって	by
47	もんごる モンゴル	Mongolia
	しゅっしん 出身	one's home

漢字リスト

書くのを覚える漢字

読み方を覚えましょう。また、書けるようになるまで練習しましょう。

1. 小林	2. 試合	3. お祝い	4. 課長	5. 音
6. 部品	7. 組み立てる	8. 欲しい	9. 手に入れる	10. 若い
11. 昔	12. 用事	13. 出口	14. 中央	15. 楽しみ
16. 映画	17. 明日	18. 侍	19. 並ぶ	20. 盛ん(な)
21. 始める	22. その他	23. 訪問	24. 集める	25. 戦う
26. 負ける	27. 太平洋	28. 戦争	29. 戦死	30. 近年
31. 増える	32. 県	33. 放映	34. 欧米	35. 関心
36. 伝統的(な)	37. 最近	38. 出身		

読めればいい漢字

読み方を覚えましょう。

1. 誘う	2. 野球	3. 一緒	4. 喜んで	5. 七十歳
6. 残念	7. 秋葉原	8. 電気街	9. 山手線	10. 京浜東北
11. 快速	12. 改札口	13. 黒沢	14. 監督	15. オリオン座
16. 徹夜	17. 選手	18. 投げる	19. 三振	20. 活躍
21. 地域	22. 優勝	23. 野球場	24. 応援	25. 出場
26. 名誉(な)	27. 大相撲	28. 力士		

漢字の部首

7
ひへん

日

This radical comes from 日 and is used for characters representing times of day, degrees of lightness, etc.

「時」「明」「晩」など

文法ノート

1 >>> 何と言っても=‘undeniably; no doubt; by any account’ [会話2 > ㊦.15] [読み物 > ㊦.44]

- a) 日本の映画監督の中で最も有名なのは、何と言っても黒沢明だろう。
(The most famous movie director in Japan by any account must be Akira Kurosawa.)
- b) 日本が経済大国になれたのは、何と言ってもアメリカのおかげだろう。
(No doubt it was thanks to America that Japan become an economic power.)

2 >>> ～たっけ／だっけ [会話2 > ㊦.21 >>> ニつ目でしたっけ？]

This sentence-final expression is used when the speaker does not remember certain information and tries to recall it by jogging his/her own or the addressee’s memory. It has the sense of ‘I seem to remember that ～, but I am not certain. Can you tell me if it’s right?’ or ‘I don’t recall (this particular information). Can you help me remember it?’ This is a colloquial expression, and it is not used in writing. Usually, you use this form with the past tense (both plain and polite) forms, as in 行っただっけ or 行きましたっけ. だっけ is also acceptable (e.g., 日本人だっけ and 行くんだっけ). Note that it is not attached to the です form, so a sentence such as 寒かったですっけ is ungrammatical. The conjugational pattern is illustrated below.

Present tense + っけ	Past plain + っけ	Past polite + っけ
日本人だっけ	日本人だったっけ	日本人でしたっけ
病気だっけ	病気だったっけ	病気でしたっけ
—	近かったっけ	—
—	行っただっけ	行きましたっけ
～んだっけ	～んだったっけ	～んでしたっけ

- a) 去年の夏も暑かったっけ。
(I seem to remember that it was also hot last summer. Am I right?)
- b) 試験は来週だったっけ。(来週だっけ is acceptable.)
(I seem to remember that the exam is next week. Am I right?)
- c) 病院の前にガソリンスタンドがありましたっけ。
(Is there a service station in front of the hospital? I don’t recall [seeing it].)
- d) 試験はいつでしたっけ。
(I don’t remember when the exam is. Would you tell me?)

3 >>> V (plain) ようにする [会話2 > ㊦.26 >>> いるようにします]

V (plain) ようにする means ‘to make an effort to do something’ or ‘to make a point of doing something.’

- a) 日本語は毎日勉強するようにしてください。
(Please try to study Japanese every day.)
- b) 遊ぶお金は、アルバイトでかせぐようにしています。
(I make a point of earning my spending money by working part time.)

4 >>> V (stem) 始める=‘begin V-ing’ [読み物 > ㊦.9 >>> 使われ始めた]

- a) 私が日本語を勉強し始めたのは一年前です。
(It was a year ago that I started studying Japanese.)
- b) ミステリーは、読み始めるとやめられません。
(You can’t stop reading a mystery novel once you start reading [it].)

[V (stem) 終わる] indicates ‘finish V-ing.’

- c) 午前三時にやっと論文を書き終わりました。
(I finally finished writing a paper at 3 a.m.)

5 >>> S₁ V (stem), S₂ [読み物 > ㊦.11 >>> なり ㊦.17 >>> 作り ㊦.34 >>> 集まり ㊦.35 >>> 放映され]

The stem of a V-ます form (e.g., *tabe*, *tsukuri*, *iki*) can be used in place of V-て form to connect two sentences. This use is generally restricted to written style.

- a) いい選手を集めてチームを作り、アメリカ・チームと試合をした。
(They formed a team by gathering good players and played games with the American team.)
- b) 多くのチームが甲子園に集まり、二週間のトーナメントをする。
(A number of teams gather together at Koshien for a two-week tournament.)

6 >>> Question word + ～ても [読み物 > ㊦.18 >>> 何度戦っても]

Question words (何／いつ／だれ／どこ／何度／etc.) followed by て-forms followed by も indicate ‘no matter what/when/who/where/how often,’ etc.

- a) 富士山は、いつ見てもきれいです。
(Mt. Fuji is beautiful no matter when we look at it.)
- b) 何を食べても太らない人がうらやましいです。
(I envy people who never get fat no matter what they eat.)
- c) 東京の町は、どこへ行っても人で込んでいます。
(Tokyo is crowded with people no matter where you go.)

7 >>> ~を^{はじ}始め=‘starting with ~; including ~’ [読み物 > ㊦.20 >>> ペープ・ルースを始め]

This phrase introduces the most obvious example, as in the following examples.

- a) アメリカではフットボール^{はじ}を始め、バスケット、アイスホッケーなどのスポーツも^{さか}盛んです。
(In America, sports such as basketball and ice hockey, not to mention football, are popular.)
- b) 黒沢^{くろさわあきら}明は、「羅生門」^{らしょうもん}を始め、「七人の侍」^{しちにんのおし}「乱」^{らん}など、多くの名画の監督^{かんとく}である。
(Akira Kurosawa is the director of many famous movies such as *Seven Samurai* and *Ran*, not to mention *Rashomon*.)

8 >>> Nにとって=‘for ~; to ~’ [読み物 > ㊦.37 >>> 高校生にとって]

- a) 日本人にとっては普通のことでも、外国人にとっては変に見えることも多いだろう。
(There are probably lots of things which seem normal to a Japanese but strange to a foreigner.)
- b) 多くのアメリカの大学生にとって、成績は一番重要なことらしい。
(It seems that grades are most important for many American college students.)

9 >>> ~的=‘~type; ~ic; ~ical’ [読み物 > ㊦.44 >>> 伝統的な]

- a) 日本^{きもの}的なおみやげと言うと、着物とか扇子^{せんす}などだろう。
(A typical Japanese souvenir might be a kimono or a fan.)
- b) 「行くぞ」とか「行くぜ」と言う^いと、男性^お的に聞こえる。
(It sounds masculine if you say *iku zo* or *iku ze*.)
- c) 黒沢^{くろさわ}は世界^{せかい}的に有名な監督^{かんとく}である。
(Kurosawa is a world-famous movie director.)
- d) 最近では、どの国でもエネルギーを経^{けい}済^{けい}的に使おうとしている。
(In recent years, every country is making an attempt to use energy efficiently [economically].)

（..... 会話練習のポイント）

a) >>> 誘^{さそ}う・誘^{さそ}われる >>>>> [会話2]

山田： ホワイト先生、今度の土曜日はお忙しいですか。

ホワイト： いいえ、別に。

山田： じゃ、うちへ遊びにいらっしゃいませんか¹。

ホワイト： あ、ありがとうございます。よろしいんですか。

山田： ええ、家内^{かない}も一度先生にお会いしたいなんて言っているんですよ。

ホワイト： そうですか。じゃ、遠慮^{えんりょ}なくおじゃまさせていただきます²。

(会う時間と場所を決めてから)

ホワイト： じゃ、楽しみにしています³。

山田： じゃ、また。

1: When you want to invite someone to do something, you use expressions such as ~ませんか, ~だけど、~さんもどうですか (formally), and V ない? (informally).

2: This expression is used to accept an invitation to someone’s home. 遠慮なく means “without hesitation” and おじゃまする literally means “to intrude on someone’s time.” When you accept an invitation to some event, you can say ぜひ一緒に (formally), ぜひ行く (informally), etc.

3: This expression is used to close an invitation sequence, saying that you are looking forward to it.

b) >>> 誘^{さそ}う・断^{ことわ}る >>>>> [会話1]

ゆみ： 土曜日の晩、パーティーがあるんだけど、行かない¹？

キャロル： 土曜日はちょっと⁴。

ゆみ： パーティーはきらい？⁵

キャロル： きらいじゃないけど。

ゆみ： 勉強^{めいけん}が忙しい？⁵

キャロル： うん、ちょっとね。

ゆみ： じゃあ、仕方ないね。

キャロル： うん、ごめんね。せっ^{さそ}かく誘^{さそ}ってくれたのに。今度またお願いね⁶。

4: ちょっと implies that you can’t comply with an invitation.

5: Oftentimes, it is polite to ask this type of question, which would make it easier for the addressee to refuse your invitation.

6: When you can’t accept an invitation, make sure you give thanks for the invitation and ask to be considered for another opportunity.

（.....運用練習.....）

1 >>> ロールプレイ

- ペアになり、一人は留学生、もう一人は日本語の先生になりなさい。留学生は、自分のアパートでパーティーをするので、先生を招待（to invite）します。日時は自由（as you like）。どのようなパーティーかも、自分で決めなさい。留学生は敬語を使うこと。先生は招待を断ります（to decline）が、なぜ行けないかを上手に説明しなければいけません。

2 >>> ロールプレイ

- ペアになり、一人は留学生、もう一人は日本のホストファミリーのお母さんになりなさい。お母さんは、今晚家族ファミリーレストランへ行くので、留学生も誘います。留学生はどう答えてもよい。

3 >>> ロールプレイ

- ペアになり、一人は留学生、もう一人はその友達の日本人学生になりなさい。日本人学生は、留学生を自分の家族に紹介したいので、自分の家へ夕食に招待します。留学生は日本人の家に行ったことがないので喜びます。名前、日時は自由。二人ともくだけた言葉で話しなさい。（先生は、駅から日本人学生の家までの簡単な地図を作り、学生たちがそれを使って会話ができるようにしてください。）

4 >>> ロールプレイ

- ペアになり、一人は大学生、もう一人はその友達になりなさい。大学生は、友達が遊びに来たので、自分の町を案内（to show him/her around）したいと思っています。どこか行きたいところを決めて、友達を誘いなさい。どこで会うかも話し合いなさい。

5 >>> ペアワーク

- a) ペアに分かれ、どんなスポーツが好きか、どうして好きか、いつからやっているか、上手かどうかなど、なるべくたくさん質問して答えを聞き、後でクラスに発表しなさい。
- b) 最近見た映画についてお互いに質問し、聞いた答えを後でクラスに発表しなさい。次の単語表の単語を使ってもよい。

俳優	actor/actress	現代物	contemporary drama
アニメ	cartoon [lit., anima(tion)]	時代物	period drama
コメディ	comedy	ハッピーエンド	happy end(ing)
ホラー映画	horror film	すじ	plot of a film
S F	science fiction		

6 >>> 作文

- 「私とレクリエーション」という題で、二百字の作文を書きなさい。

（.....聞き取り練習.....）

- ジェリーが友達の真美の家に電話をかけています。CD を聞いて、次の質問に答えなさい。

騒ぐ to make a lot of noise

- a) 真美の名字（family name）は何といいますか。
- b) ジェリーが電話をかけた時、初めにだれが出ましたか。どうして分かりますか。
- c) ジェリーは、真美を何に誘いましたか。
- d) パーティーは何時ごろ終わるでしょうか。
- e) 真美はジェリーのアパートに行ったことがあるでしょうか。どうして分かりますか。

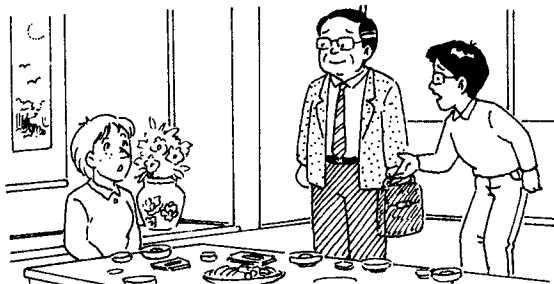
「どこに座るか」

エミリーは、アメリカの大学の大学院で経済を専攻しているが、今年は日本に留学している。留学先は東京の K 大学で、有名な Y 教授のゼミに入れてもらった。ゼミは 10 人ぐらいのグループで、アメリカやイギリスの論文を英語で読んで、それについてディスカッションをする。読む物は英語だから問題ないが、ディスカッションは日本語なので、エミリーは、日本語の単語をたくさん覚えなければならなくて大変だ。

ゼミが始まって二ヵ月後に、ゼミの学生たちが Y 教授を招待して飲み会をすることになった。飲み会では、学生たちが一緒に飲んだり食べたりしながら教授にいろいろ話を聞くそうで、エミリーには初めての経験である。場所は S というすきやき屋に決まった。エミリーはゼミの友人齊藤君に地図をかいてもらったが、道に迷うと困ると思って早く出かけて行っただけで、だれよりも早く着いてしまった。

飲み会の部屋に案内されると、和室だった。八畳の部屋には、低いテーブルがいくつか置かれ、座ぶとんがたくさん敷かれていた。エミリーは靴をぬいで上がったが、どこに座ったらいいのかわからなかった。しかし、多分一番奥に座るのがいいだろうと思って、床の間の前に座った。五分後に齊藤君が Y 教授と現れた。Y 教授は、エミリーが座っているのを見ると、ちょっとびっくりしたような顔をして、齊藤君に何か言った。すると齊藤君はエミリーに、「エミリー、すまないけど、もっと横の方に座って」と言った。そして、エミリーの座っていた、床の間の前の所に、Y 教授を座らせた。

飲み会は楽しかったが、エミリーはなぜ自分が動かされたのか、どうしても



わからなかった。翌日大学で齊藤君に会った時間いてみると、齊藤君は次のように答えた。

「和室では、床の間の前に、一番目上の人が座ることに決まっているんだ。僕も忘れていたんだけど、Y 先生に注意されちゃったよ。」

単語

教授	professor	低い	low [↔高い]
ゼミ	a group of students that meets regularly with a designated professor to study specific topics	座ぶとん	a small cushion for sitting on [=座る時に使う小さなふとん]
論文	article; essay; thesis	敷く	to lay flat (to sit on)
招待する	to invite	奥	the back [=入り口から遠い所]
道に迷う	to get lost [=道が分からなくなる]	床の間	alcove
案内する	to show (someone) the way to a place	現れる	appear; arrive [=やってくる]
和室	a tatami room [=畳の部屋]	動く	to move [v.i.]
八畳	eight-mat room [12'x12']	翌日	the next day [=次の日]
		注意する	to caution

● 次の文を読んで、正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい。

- ☐ a) エミリーはひとりですきやき屋に行った。
- ☐ b) エミリーは前にも飲み会に出たことがあった。
- ☐ c) Y 教授が学生をこのパーティーに招待した。
- ☐ d) エミリーが着いた時には、まだだれも来ていなかった。
- ☐ e) エミリーは、先生が座るはずのところに座っていた。

サルも木から落ちる
(lit., Even monkeys fall from trees.)

第

15

課

ウチから見た日本、 ソトから見た日本

インタビューする

- ◆ 実は日本語のクラスでプロジェクトワークをしまして、
…いろいろお話をお聞きできたと思っているのですが。……>会話 1
- ◆ 日本に住んでいて、
これはアメリカと違うなと思われた点がありますか。 ………>会話 2
- ◆ 「出る杭は^{くい}うたれる」ということでしょうか。
- ◆ ああいうのはどう思いますか。 ……………>会話 3
- ◆ あ、なるほど。

Kawaii (かわいい) 'Cute'

>>>>

In 速読 in Lesson 2, Sachiko used the word *kawaii* to describe a squirrel. The word *kawaii* was originally used to describe only babies, small animals, and dolls, but in recent years, it has come to symbolize Japanese pop culture. Hello Kitty and Pokemon are no doubt the most famous examples of this "cuteness" culture, but cute elements are found not only in character goods but also in fashion, personal appearance, mannerisms, etc. You even see these cute characters on the body of commercial airliners and many government offices have cute mascots, so they are not just limited to children's goods. A young female office worker might characterize her male superior's mannerism as "*kawaii*." Once a seal wandered into a river in Tokyo and became very popular because it was "*kawaii*." The word "*kawaii*" has indeed become a handy word to express one's positive feeling.

Group Society

>>>>

In Japanese society, the group you belong to is very important. So, when you meet someone for the first time, the first question you are asked might be which company you work for or which university you are attending, rather than what type of work you do. Within the group, maintaining group harmony is considered to be very important. Conciliatory and cooperative attitudes are more valued than strong individualism. So, confrontation in public is avoided as much as possible. Japanese value unanimity in any decision-making process, and so, consensus building is sought before any important decision is made.

しゅうしょくかつどう
就職活動 (job hunting)

>>>>

就職活動 that is talked about in 読み物 2 specifically refers to somewhat systematized activities that college students go through in the process of looking for employment after graduation. These are for jobs in well-established companies with good prospects and higher job security, and usually, students start 就職活動 in their junior year. Once you missed this chance, it used to be rather difficult to get a good job. However, these days, it seems that there are more options available for people who seek jobs after graduation or for people who want to change jobs.

●
●
●
●
●**会 話 >>>>> 1**

- 1 ● 留学生のビル・グラントが国際学部の小山先生に電話でインタビューを申し込む。

グラント： もしもし、小山先生でいらっしゃいますか。

小 山： はい、小山です。

グラント： わたくし、先日国際学部の横山先生からご紹介いただいたグラントですが。

- 5 小 山： あ、グラントさんですか。こんにちは。

グラント： 実は日本語のクラスでプロジェクトワークをしまして、私は日本の歴史の教科書をトピックに選びました。先生がその問題について研究なさっていると伺ったので、いろいろお話をお聞きできたらと思っているのですが。

小 山： あ、そういうことなら、喜んでご協力しますよ。

- 10 グラント： ありがとうございます。助かります。では、一度お会いしたいんですが、先生は、いつがご都合がよろしいですか。

小 山： 私は、火、木ならいつでもいいですよ。来週の火曜日の午後一時はどうですか。

- 15 グラント： はい、結構です。では、来週の火曜日、午後一時に先生の研究室に伺いますので、よろしくお願いいたします。

小 山： はい。じゃ、来週。

グラント： 失礼します。



プロジェクトワークの発表

会 話 >>>>> 2



- 1 ●日本語の高木先生がアンディー・ミラーにインタビューをしている。ミラーは日本に約十年住んでいた。

高 木： あのを、ミラーさんは10年間日本に住んでいらしたんですが、日本に住んでいて、これはアメリカと違うなと思われた点がありますか。

- 5 ミラー： そうですね。これはちょっとステレオタイプのかもしれないんですが、アメリカ人は自分を重んじるけど、日本人は自分の入っているグループを重んじるんですね。

高 木： グループを重んじるって、どういうところに現れていると思いますか。

- ミラー： 例えば、まあ、人に対する気配りですか。人が何か言う前にその人が何を考
10 えているかということに気を使う。多分それが日本人が小さい時から教わっていることだと思うんですけど。私は積極的にしゃべれないタイプなんです
が、日本では私がしゃべらなくても、「アンディー、こう思ってるでしょう」
って言ってくれるので、私はただ「うん」と言えばいいわけですね。それ
に、何かのグループに入れば、すぐ友達ができるので、自分の方から積極的
15 にほかの人たちに働きかけなくても友達が作りやすかったですね。それはとても気が楽でした。

高 木： 居心地がよかったわけですね。

- ミラー： そうです。でも、そのグループ中心というのが逆によくない面もありました。
私は二度目に日本に行った時は社会人として行ったんですが、例えば会社
20 中で、グループのトップの人に任せて、自分では考えないし、意見を言わ
ない、ていうか¹言えない。自分の意見をあまり言うと、それはよくないという
雰囲気がありました。それでフラストレーションがたまりましたね。

高 木： 「出る杭はうたれる」ということでしょうか。

- ミラー： そうですね。日本人は対立をあまり好まないと思うんです。アメリカ人はお
25 互いに自分の意見を言って、妥協しながらやっていくんですけど。日本人が
そういうことをしないとやっているわけではないんですが、でも、どっちか²
と言うと³、そういう違いがあるような気がします。

会 話 >>>>> 3



- 1 ●雑誌の編集をしている小田まり子がアン・ノリスにインタビューしている。アンは、大学に行くまで日本に住んでいた。

小 田： 最近、外国で日本のマンガやアニメがはやっていますけど、ああいうのはどう
う思いますか。

- 5 ノリス：すごいと思います。アメリカから日本にいろんなものが来ているんですけど、
日本から海外にそういうものが出て行くのってすばらしいと思います。ただ
の技術とか車とかじゃなく、そういうカルチャーがほかの国で人気があるっ
ていうのは、私はすごくうれしいです。

小 田： 日本には、キティーちゃんとかポケモンとか、本当にかわいいものがたくさ
10 んあるんですけど、そういうものも外国で人気がありますよね。

- ノリス： ええ。そのことで、ちょっと印象に残っていることがあるんですよ。私は、
アメリカの大学に行った時、日本からかわいいペンなどをたくさん持って行
ったんですね。で、「これかわいい」とかいろいろ言われたんですけど、「イ
ンクはどうやって替えるの」⁴って言われて、「いや、日本では、インクがな
15 くなったら捨てて、新しいの買うんだけど」って答えていたんです。

小 田： あ、なるほど。

- ノリス： アメリカだと、長く使えるペンや、インクを入れ替えられるようなペンの方
が普通っていう感じだったんですけど、日本だと使い終わったら捨てて新し
いのを買うっていう使い捨て。今かわいいから今使って、飽きたら新しいも
20 のを買う。そういう違いが結構大きいなって思いました。日本では、「新発
売」とか「新製品」とか、「新」なんとかっていうのにすごく敏感で、すぐ
新しいものに飛びつく人が多いようですが、アメリカでは、いいものを買っ
て、長く同じものを使う人が、私の周りでは多かったんですね。

小 田： そうですか。私も結構新しいものにすぐ飛びつく方なんですけど、古いもの
25 を、もう少し大事にした方がいいのかもしれないですね。

読み物 1 >>>>> Coolな日本

渡邊裕子
わたなべゆうこ



2 >>> 35

1 アメリカの大学院に入ったばかりの頃、クラスメート^{たち}達の会話の中に、日本では習わなかった語句や言い回しを日々耳にした。その多くは、日常生活やテレビなどで頻繁に使われるものだったから、辞書を引くよりは、「この言葉は、こんな風に使うのかー」と文脈から判断しながら、^{じょじょ}徐々にそれらを自分のものにしていった気がする。(中略)

5 そんな言葉の1つに「cool」がある。使いようは幅広い。要は「カッコいい」「粋だ」「しゃれている」——今の日本の言い回しでいうなら「イケてる」ということだが、何かを提案したときに相手が That's cool といえば、「いいじゃん」だし、He is cool といえば、「いい奴」「話のわかる奴」となる。もめた後、We are coolと言うなら、「もう仲直りした」ということだ。

10 私が初めて会話の中で何気なく「That's cool」と言った時、必死に私にスラングを叩き込もうとしていた当時のルームメイトは、「やっとアメリカ人みたいに喋るようになってきたね!」と、やたら喜んでいた。

とにかく、この「cool」という形容詞は、頻繁に日常会話に登場する。つまりそれは、「coolであること」が、アメリカ人にとってそれ相応に重要な価値基準であること
15 を示しているのだろう。それは日本人が「カワイイ」という形容詞を日常会話の中で実に頻繁に使うことと、日本社会や現代文化において「カワイイ」がもつ価値の関係を考えてみればわかる。

そのアメリカ人の目からみて、日本文化は「cool」らしい。中央公論5月号の特集、「日本文化立国論」の中に、「世界を闊歩^{かつぽ}する日本のカッコよさ」というレポートが収め
20 られている。著者であるダグラス・マッグレイは、2001年、ジャパン・ソサエティーのフェローシップで訪日し、このレポートを書いた。

原題「Japan's Gross National Cool」が表す通り、彼は「ある国のカッコよさ、つまり大衆に与える文化的影響力は、GNPと同様、その国のパワーとして認知されるべきではないか」と説き、日本は既にその分野の超大国となっていると指摘する。

25 この分析は、10年以上前に政治学者のジョセフ・ナイが「ソフトパワー」という言葉を使って説いた理論の延長線上にある。アメリカが世界中でコカ・コーラやジーンズを売り、ナイキのスニーカーを流行らせ、ハリウッドの映画を見せる時、彼らは単に

物を売っているのではない。

文化という媒体は、力を持てば、受け手の好みや考え方、価値観にまで深く影響を及ぼすことができる。アメリカはそのことを自覚しているし、長年にわたり、その力を戦略的に伸ばしてきた。

では、日本はどうか。アニメやポケモン・グッズやキティーちゃんが欧米で人気を高め、日本食、日本製電子機器やゲームが海外でももてはやされ、日本人建築家やデザイナーたちが次々に認知度を上げている現在の状況を、日本人は自分達の国力として認識しているだろうか。

日本は、外国文化を吸収し、模倣し、変形させ、自分たちの文化の中に取り入れることを古くから得意としてきた。でも、日本人が日本で生み、育ててきたものの中には、外国人が憧れ、真似したくてもできないと感じているものが数多くある。その魅力に一番無頓着なのは日本人自身ではないだろうか。

40

(asahi.com「マイタウン USA」2003年4月23日)



アニメ・エキスポに集まる
日本アニメのファンたち
(写真提供: 共同通信社)

読み物 2

「きまり」だらけの日本、「きまり」のないタイ
カノックワン・ラオハブラナキット・カタギリ2
36

1 初めて日本に着いた時の第一印象は、「寒いが、きれいで、秩序がある国」だった。日本は、私が生まれ育ったタイの首都バンコクとずいぶん違っている。タイに暮らす外国人が書いたある本によれば、第一印象は「暑くて、汚くて、やかましい」で、第二印象は「無秩序に広がる街」だったそうだ。私の日本の印象とちようど正反対である。

しばらく日本に住むうちに、日本の第二印象として「日本人は、よく歩き、よく働き、きまりをよく守る」と感じるようになった。日本の社会には多くの「きまり」があること、そして日本人はそれを厳格に守ろうとしていることに驚いた。日本ではどこに行っても、「きまりですから」という言葉を耳にする。これを言われてしまうと、こちらにはもう反論の余地はない。どんなに常識的で正当な理由もこの言葉にはかなわない。

15 日本社会の「きまり」にかかわる例の一つに、会社への就職活動がある。日本で就職活動ができるのはなぜか新卒者に限られている。卒業後すぐに職につかなかった人や、

35 しいかもしれない。タイで働く日本人が「タイでは、なかなか物事がきまらない」と思っている、ある日突然きまると不満を言うのを聞いたことがある。タイでは「あらかじめきめておく」ということがあまりない。「きまりですから」もタイ語には訳しづらい。代わりにタイには「Mai pen fai」という言葉がある。「気にするな、ま、いいじゃないか」という意味で、どんなに常識的で正当な理由もこの言葉にはかなわない。この言葉ですべての物事が簡単に片づけられてしまう。

45 しかし、これがタイの悪いところだとも言い切れない。一つの方法だけにこだわらないということは、場合によっては視野の広い判断を下すことを可能にする。人々も社会の「きまり」に縛られなくて、精神的に余裕がある。タイにあこがれているある日本人の若者が、タイには社会に縛られていることから解放される快感があると語ってくれた。

50 日本では何もかもがきまつていて面白くない。レストランや弁当屋に行けば、どの店でもメニューはほぼ同じだ。タイでは、普通のレストランなら客が材料と調理方法を自由に指定して作ってもらうことができる。

あまりにも「きまり」が多い日本社会と、あまり「きま

大学院でちよつと長めに学生生活を楽しんでしまった人には、日本の会社は冷酷だ。「きまり」から外れたところに優秀な人材はいないと確信しているようである。

「きまり」に関しては滑稽な例もある。私がよく利用する図書館では、暖房と冷房を入れる日付が決められている。その日を過ぎると、どんなに寒くても暖房は消され、どんなに暑くても冷房は消される。たまにあるような三月の非常に暖かい日にも暖房はつき、七月のやや寒い日にも冷房はつく。何があつてもあらかじめ決められた暖房期間と冷房期間は遵守される。「今日は肌寒いなあ」と思いながら図書館に入ると、冷房が利いてさらにひんやりとしていて、図書館の人たちはひざに毛布を掛けている。ま、そこまで「きまり」を守らなくてもいいのにとあきれながらも、この「きまり」に対する厳格さには感動を覚えた。

しかし、タイ人は違う。タイ人は社会の「きまり」をそれほど守らない。というより、あらかじめ物事をあまり決めておかない。「きまりがない」という言い方のほうが正

りのない」タイ社会、どちらがいいのだろうか。答えは難しいが、発展の望まれるタイにおいては、もう少し人々が「きまり」を守る意識を持たないと、複雑になった現代社会において発展するのは難しいのではないかと思う。八年間日本にいた私は、いつの間にか日本社会の「きまり」になじんでしまつて、タイで働く日本人と同様、タイの「何もきまらない」ところにいらいらしは始めている。日本に来る前の私は、タイののんびりした雰囲気になんか不満を感じたことはなかったのに。

『だから私は日本を選んだ!』（ジャパンブック）より

単語

会話 >>>>> 1

- 1 小山 [family name] 9 協力する to cooperate

会話 >>>>> 2

- 1 高木 [family name] 20 ていうか or rather 【>>>文法ノート1】
5 (～を)重んじる to value ～; to give importance to ～
グループ group
8 気配り consideration (for ～)
9 (～を)教わる to learn
14 働きかける to approach (someone)
16 居心地がいい to be comfortable
17 面 aspect
18 社会人 a working, full-fledged member of society
21 フラストレーション frustration
たまる to accumulate [v.i.]
22 出る杭はうたれる Stand out from the crowd and you just invite trouble for yourself.
23 対立 opposition; confrontation
24 妥協する to compromise
25 どっちかと言うと if I have to choose one over the other 【>>>文法ノート2】

会話 >>>>> 3

- 1 小田 [family name] 19 飽きる to get bored
まり子 [female given name] 20 新発売 new product on the market
3 はやる popular 21 新製品 new product
6 海外 abroad 22 飛びつく to jump at
7 技術 technology 23 周り around (someone)
11 印象に残る ～ left an impression on (me) [v.i.] 25 大事にする to take a good care of ～
13 インク ink
17 入れ替える to change

読み物 1 >>>>>

- 0 渡邊 [family name]
裕子 [female given name]
1 ～達 plural form
2 語句 words and phrases
言い回し expression
耳にする =聞く
日常会話 everyday conversation
頻繁に frequently; often
3 辞書 dictionary
4 文脈 context
判断する to judge
徐々に gradually
5 使いよう =使い方
幅広い wide
要は in a word; in short
粋(な) stylish; chic
7 提案する to suggest; to propose (a plan)
8 奴 a chap; a guy
もめる to have a dispute [quarrel] with
9 仲直りする to make it up with; to reconcile
10 何気なく without much thought
必死に desperately
11 (～に…を)叩き込む to hammer … into ～'s head
12 やたら(に) excessively; indiscriminately
13 (～に)登場する to appear (on TV, etc.) [v.i.]
14 それ相応に in its own way
14 価値基準 standard of value
15 実に really; truly
18 中央公論 [name of a journal]
特集 special issue
19 立国論 theory of nation building
闊歩する to stride; to swagger about
収める to put away (to include) [v.t.]
22 原題 original title
～通り just as ～
23 大衆 the general public
GNP gross national product
(～と)同様 just like ～ [=と同じように] 【>>>文法ノート5】
パワー power
認知する to acknowledge
24 説く to explain [v.t.]
分野 field
超大国 super power
指摘する to point out
25 分析 analysis
26 理論 theory
延長線上 extension
27 流行る to be popular [v.i.]

	単に～ではない	not merely; not simply	【>>>文法ノート6】
29	媒体	medium	
	受け手	receiver	
	好み	liking; taste	
29	及ぼす	to exert (influence) [v.t.]	
30	自覚する	to realize [v.t.]	
	～にわたり	＝～の間	
	戦略的に	strategically	
31	伸ばす	to cultivate; to develop (one's skill, etc.) [v.t.]	
33	日本製	Japanese made; made in Japan	
	電子機器	electronic instrument; gadgets	
	もてはやす	to praise; to make much of [v.t.]	
	建築家	architect	

	デザイナー	fashion designer	
34	認知度	level of name recognition	
34	上げる	to raise [v.t.]	
	現在の状況	current condition; circumstance	
	国力	nation's power	
	認識する	to recognize	
36	吸収する	to absorb	
	模倣する	to imitate	
	変形する	to transform	
	取り入れる	to adopt [v.t.]	
37	得意	one's strong point; to be good at	
38	真似する	to imitate	
39	無頓着	to be indifferent	

読み物 2 >>>>>>

0	きまり	rules	
	～だらけ	full of ～	【>>>文法ノート7】
	タイ	Thailand	
	カノックワン・ラオハブラナキット・カタギリ	[name of the author]	
1	印象	impression	
3	首都	capital	
	バンコク	Bangkok	
4	汚い	dirty	
5	やかましい	noisy	

	広がる	to spread out [v.i.]	
6	正反対	complete opposite	
8	守る	to observe; to keep (rules)	
10	厳格に	strictly	
13	反論	objection; counterargument	
	～の余地がない	there is no room for ～	【>>>文法ノート8】
	常識	common sense	

	正当(な)	proper; reasonable; just	
14	(～には)かなわない	to be no match for; can't win	【>>>文法ノート9】
15	(～に)かかわる	concerning	
16	就職活動	job hunting	
	なぜか	for some reason	
16	新卒者	＝卒業したばかりの人	
17	職につく	＝就職する	
18	長めに	somewhat long	
19	冷酷(な)	cruel; heartless	
	(～から)外れる	to be out of	
20	優秀(な)	excellent; talented	
	人材	person of talent	
	確信する	to believe firmly	
21	滑稽(な)	funny; comical	
22	暖房	heating	
	冷房	air conditioning	
23	消す	to turn off [v.t.]	
24	たまに	occasionally	
25	やや	a little	
26	あらかじめ	beforehand; in advance	
27	遵守する	to observe (the rules)	
	肌寒い	chilly	
28	利く	to work effectively	
	さらに	＝もっと	
	ひんやりとする	to be chilly/cool	
29	ひざ	(one's) lap	
	毛布	blanket	

	掛ける	to put ～ on	
30	あきれる	to be dumb-founded	
31	感動を覚える	to feel impressed	
36	突然	suddenly	
37	不満	discontent	
39	～づらい	＝～にくい	【>>>文法ノート10】
44	言い切る	to declare; to say definitely	
45	～にこだわらない	not to be particular about; not to be picky	【>>>文法ノート11】
46	視野	perspective	
	判断を下す	to make a judgment	
	可能	possibility	
47	縛る	to tie (someone) up	
	精神的に	psychologically	
	余裕	room; space	
49	解放する	to liberate	
	快感	pleasant feeling (sensation)	
	語る	＝話す	
51	ほぼ	almost	
52	材料	materials; ingredients	
	調理	cooking	
56	発展	development	
57	意識	consciousness; awareness	
60	～になじむ	to get used to	
61	いらいらする	to get frustrated	

漢 字 リ ス ト

書くのを覚える漢字

読み方を覚えましょう。また、書けるようになるまで練習しましょう。

1. 協力	2. 都合	3. 教わる	4. 積極的	5. 面
6. 任せる	7. 意見	8. 技術	9. 印象	10. 入れ替える
11. 発売	12. 製品	13. 飛ぶ	14. 耳	15. 辞書を引く
16. 風	17. 判断	18. 幅広い	19. 必死に	20. 登場
21. 価値	22. 収める	23. 著者	24. 原題	25. 表す通り
26. 理論	27. 自覚	28. 建築家	29. 変形	30. 首都
31. 常識	32. 外れる	33. 確信	34. 暖房	35. 冷房
36. 消す	37. 正しい	38. 不満	39. 可能	40. 解放
41. 語る	42. 材料	43. 発展		

読めればいい漢字

読み方を覚えましょう。

1. 結構	2. 気配り	3. 居心地	4. 出る杭	5. 好む
6. 妥協	7. 捨てる	8. 飽きる	9. 敏感(な)	10. 周り
11. 言い回し	12. 頻繁に	13. 文脈	14. 粋(な)	15. 提案
16. 奴	17. 仲直り	18. 叩き込む	19. 基準	20. 認知
21. 説く	22. 指摘	23. 分析	24. 延長線上	25. 媒体
26. 深く	27. 及ぼす	28. 伸ばす	29. 機器	30. 状況
31. 吸収	32. 模倣	33. 真似	34. 汚い	35. 守る
36. 厳格に	37. 余地	38. 冷酷(な)	39. 優秀(な)	40. 人材
41. 滑稽な	42. 肌寒い	43. 利く	44. 毛布	45. 掛ける
46. 視野	47. 縛る	48. 余裕		

漢字の部首

15
くさかんむり



This radical is based on the image of grass and is generally used for characters representing kinds, conditions etc., of grass.

「花」「草」「英」など

文法ノート

1 >>> (っ)ていうか=‘or rather; more appropriately’

[会話2 > ㊦.20 >>> ていうか言えない]

This is a colloquial form of というか (a quotation marker と／て + the verb 言う + か). It can follow a noun, a phrase or a sentence, and is used to give a more appropriate expression.

- a) きのうパイを作った、ていうか作るのを手伝っただけなんだけど。
(Yesterday, I made a pie, or rather I helped make a pie, and . . .)
- b) A: じゃ阿蘇に行ったんだったら、乗馬とかやった?
(So, you went to Aso, and did you do horseback riding?)
B: 乗馬っていうか、馬にさわっただけ。
(It wasn't really horseback riding – it was more like just touching a horse.)
- c) A: 前に兄弟で日本語取っていた学生がいたでしょう。
(At that time, there were brothers who took Japanese, weren't there.)
B: 兄弟っていうか、ふたごですけど。
(More precisely, they were twins rather than brothers.)

2 >>> どっちかと言うと=‘rather (than); if anything’

[会話2 > ㊦.25]

This is a colloquial form of どちらかと言うと, and is used to imply that ‘X is Y, if we have to choose between the two alternatives.’

- a) 彼女はどっちかと言うと母親に似ている。
(She looks more like her mother [than her father].)
- b) 日本人はどっちかと言うと対立を好まない。
(The Japanese people, if anything, do not like confrontation.)
- c) 私は、日本語は、どっちかと言うと話す方が得意だ。
(If I have to choose one over the other, I am better at speaking Japanese (than reading it).)

3 >>> ~ような気がする=‘to have a feeling that; to have the impression that; it seems to me that’

[会話2 > ㊦.26 >>> 違いがあるような気がします]

- a) 日本語が少し上達したような気がします。
(I feel my Japanese has improved a little.)
- b) 日本人は自分の入っているグループを重んじるような気がします。
(It seems to me that the Japanese people value a group that they belong to.)

4 >>> ～とか(言う)＝‘to (say) something like ～’ [会話3 > ㉞.13 >>> 「これかわいい」とか]

とか is a variation of a quotation marker と. So, it can be used whenever と can be used. Compared with と, とか indicates that the speaker is not quite certain of what is quoted. In recent years, however, it has come to be very frequently used even when the speaker is certain of what is quoted. In such cases, the use of とか results in making an utterance more indirect, vague, or casual.

- a) 今日日本語の学生が増えているとか聞きましたが、本当でしょうか。
(I heard something like the number of students in Japanese language classes is increasing, but is it true?)
- b) 「これかわいい」とかよく言われました。
(They often said something like, “This is cute.”)

5 >>> ～(と)同様＝‘similarly; just like’ [読み物1 > ㉞.23 >>> GNPと同様]

[読み物2 > ㉞.60 >>> 日本人と同様]

- a) アニメは日本と同様、アメリカでも人気がある。
(Anime is popular in America just like in Japan.)
- b) 韓国語にも日本語同様、敬語がある。
(The Korean language has honorifics just like Japanese.)

6 >>> 単に～ではない＝‘not merely/simply ～’ [読み物1 > ㉞.27 >>> 単に物を売っているのではない]

- a) 日本は単に外国文化を模倣しているのではない。
(Japan is not merely imitating foreign cultures.)
- b) 多くの人は、単にお金を稼ぐために働いているのではないだろう。
(Many people are probably not working merely to make money.)

7 >>> ～だらけ＝‘full of ～’ [読み物2 > タイトル >>> 「きまり」だらけの]

This expression is used with a limited group of nouns, such as だろ ‘mud,’ 間違い ‘mistake,’ 穴 ‘hole,’ etc., that carry negative connotations.

- a) アメリカでは時々穴だらけのジーパンをはいている学生を見かける。
(In America, we sometimes see students wearing jeans full of holes.)
- b) 間違いだらけの作文を直すのは時間がかかる。
(It is time-consuming to correct compositions full of mistakes.)

8 >>> ～の余地がない＝‘There is no room for ～’ [読み物2 > ㉞.13 >>> 反論の余地はない]

- a) 妥協の余地がない。
(There is no room for compromise.)

- b) 相手が話を聞いてくれない人だと、議論の余地がない。
(When the other party does not listen to what [I] have to say, there is no room for discussion.)

9 >>> ～に(は)かなわない＝‘to be no match for ～; can’t win ～’ [読み物2 > ㉞.14 >>> この言葉にはかなわない]

- a) どんなに正当な理由もこの言葉にはかなわない。
(Even the most legitimate reason can’t prevail over this word.)
- b) 素人はいくらがんばってもプロにはかなわない。
(An amateur, no matter how hard he/she tries, is no match for a professional.)

10 >>> V(stem)づらい＝‘difficult to V’ [読み物2 > ㉞.39 >>> 訳しづらい]

This expression is very similar in meaning to V(stem)にくい. つらい(辛い) literally means ‘painful; to have a hard time’ and hence V(stem)づらい has a connotation that the speaker/writer ‘finds it difficult to carry out an action.’

- a) のどが痛い、ものが食べづらいだろう。
(When one has a sore throat, it must be difficult to eat.)
- b) 自分の失敗は他人には話しづらい。
(I find it difficult to talk about my own failures.)

11 >>> ～にこだわる／こだわらない＝‘(not) to be particular about; (not) to be picky’ [読み物2 > ㉞.45 >>> 一つの方法だけにこだわらない]

- a) アクセントにこだわっていると、日本語を話すのは難しいかもしれない。
(If you pay too much attention to accent, it might be difficult to speak Japanese.)
- b) 場所にこだわらなければ、安く家を買える。
(If you are not picky about the location, you can buy a house inexpensively.)

12 >>> ～において＝‘at; in’ [読み物2 > ㉞.56 >>> タイにおいては]

This expression is used with a noun indicating a place or a time period. It can be replaced by で, but において is more formal and mainly used in writing.

- a) 明治時代において女性が留学するのは大変珍しいことだった。
(In the Meiji period, it was very unusual for a woman to study abroad.)
- b) 第一回のオリンピックはギリシャにおいて開催された。
(The first Olympic Games were held in Greece.)

（ 会話練習のポイント ）

a) >>> インタビューをする

坂本： 南西大学の坂本と申します¹。今日は「ウチから見た日本」というテーマで、日本の社会とか日本人について日ごろ感じていらっしゃることを、いろいろお聞きしたいと思います²ので、よろしくお願いします³。

ロバーツ： こちらこそよろしくお願いします。

坂本： ロバーツさんはもう長年日本に住んでいらっしゃるんですが、日本で慣れるのが一番難しかったことは何でしょうか⁴。

* * *

坂本： じゃあ、今の若者についてはどうお考えですか⁴。

* * *

坂本： すみません、もう一度お願いします⁵。

* * *

坂本： 今日はお忙しいところをいろいろどうもありがとうございました。大変勉強になりました⁶。

1: You can start interviewing someone by first introducing yourself.

2: First, let the interviewee know what the topic of your project is and then ask if it is all right to question him/her on this subject.

3: Conclude your introductory remark by saying よろしく願います。

4: It's important that you prepare a number of questions ahead of time. Your questions can be framed in such expressions as ～は何でしょうか and ～についてどうお考えですか。

5: When you did not understand what the interviewee said or when you need more explanation, you can say, for example, もう一度お願いします, もう少し詳しく話していただけますか or ～というのはどういうことですか。

6: You can end your interview by thanking him/her. 大変勉強になりました means that you learned a lot from the interview.

（ 運用練習 ）

1 >>> ロールプレイ

- ペアになり、一人はインタビューする人、一人はインタビューをされる人になりなさい。インタビューをする人は、電話でインタビューをされる人にインタビューを頼み、アポイントメントをとりなさい。

2 >>> ブレーンストーミング

- 自分の国に住んでいる日本人にインタビューをするために、三人ずつのグループを作って、どんな質問をしたいか考えなさい。そして、後でクラスの人たちに発表しなさい。

3 >>> インタビュー (optional)

- 実際に日本人をインタビューしてみましょう。2で考えた質問を使いなさい。

4 >>> 小グループワーク

- 日本に行ったことのある人を中心にして、小グループを作りなさい。その人に、日本人は違うなと思ったかどうか、どんな点が違うと思ったか聞きなさい。それぞれのグループは後で答えをクラスに発表しなさい。

5 >>> ペアワーク

- 自分の身近にあるもので、かわいいと思うものがありますか。それは何でしょうか。日本人がかわいいと思うものとあなたの国の人がかわいいと思うものとは、同じでしょうか。ペアで話し合いなさい。その後クラスに発表し、クラスで話し合いなさい。

6 >>> ブレーンストーミング

- 日本からあなたの国に入ってきているものは、どんなものですか。あなたの国から日本に輸出 (export) しているものは、何でしょうか。リストを作って、クラスで発表しなさい。

7 >>> 作文

● 次のどちらかでまとめなさい。

- a) インタビューの申し込みをするメールを書きなさい。
b) 実際のインタビューをした場合は、そのインタビューをまとめて作文にきなさい。

聞き取り練習

- 日本の会社で研修^{けんしゅう}をしているアメリカ人アンダーソンが、上司^{まつだ}の松田と話しています。CDを聞いて、次の文が正しければ○、間違っていれば×を入れなさい。

かいでん
回転ずし

a self-service style
sushi restaurant

アボカド avocado

あぶら
脂

fat

まぐろ tuna

まきずし

rolled sushi

ツナサラダ tuna salad

- ☐ a) 回転ずしのすしは、安くておいしいらしい。
☐ b) アメリカのすしレストランの客は、ほとんど日本人らしい。
☐ c) アメリカ人は、すしは体にいいと思っているようだ。
☐ d) アボカドを使ったすしは、日本のすし屋にはない。
☐ e) 日本のすしのメニューは、昔から変わっていない。

(この読み物には単語表がありません。分からない単語の意味を考えながら読みなさい。)

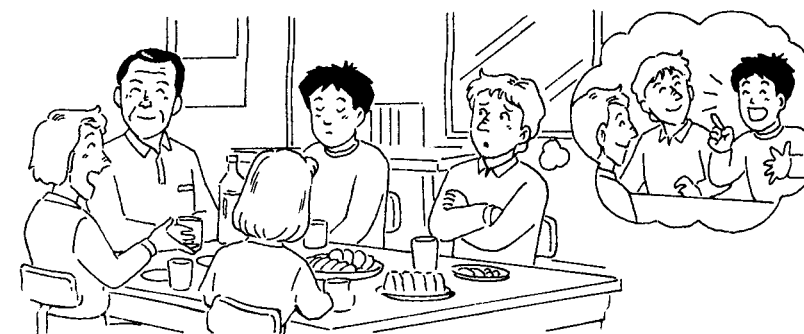
速読

>>>> ウチから見た日本、ソトから見た日本

「パーティーの会話」

- 1 マイクはアメリカからの留学生で、今年度は東京の有名な大学の国際部で、日本語や日本の経済のコースを取っている。東京ではホストファミリーを見つけるのが難しく、アパートに住んでいる。アパートに住んでいると、いつでも好きな時にパーティーができるので、パーティーの好きなマイクは、よくパーティーをする。大きくてやかましいパーティーではなくて、^{した}親しい友達を何人か呼んで、飲んだり食べたりしながら話すだけの、簡単なパーティーである。そんな時には、隣に住んでいる日本人の大学生「ヒロ」を、いつも呼ぶことにしている。「ヒロ」は、本当の名前は博^{ひろし}だが、アメリカ人と付き合う時には「ヒロ」というニックネームを使っている。彼は、マイクの留学している大学の経済学部の学生で、普通の日本人よりはっきり自分の意見を言うので、アメリカ人のマイクには分かりやすく、付き合いやすい。

- 15 今晩は、マイクの日本経済^{きやうけい}の教授^{まへだ}、前田先生と、そのクラスのアメリカ人留学生を何人か呼んでパーティーをするので、ヒロにも来てもらった。マイクのクラスメートたちは、まだ日本語が下手なので、ヒロに英語で日本の習慣についていろいろ質問し、ヒロはなかなか上手な英語でそれに答えていた。学生たちが来たら三十分ぐらいしたころ、前田先生が着いた。先生も入って、ディスカッションが続いた。しかし、マイクはそのうち、あることに気づき始めた。英語のディスカッションは続いているのに、ヒロがほとんど何も言わなくなってしまったのだ。話が日米関係のことになって、マイクがヒロの意見を聞くと、ヒロは前田先



- 20 生の方を見て「どうぞ」と言っただけで、何も言おうとしない。結局、先生とアメリカ人だけの話し合いになってしまった。ヒロはなぜ急に静かになってしまったのだろうか。

● 次の文を読んで、一番正しいと思われるものに○をつけなさい。

- ☐ a) ヒロはビールを飲みすぎて、何も分からなくなってしまったのだろう。
- ☐ b) ヒロは、前田先生のコースで悪い点をもらったことがあるので、恥ずかしかったのだろう。
- ☐ c) ヒロは、前田先生と留学生たちがみんな英語で話しているのが、いやになったのだろう。
- ☐ d) 日本では、こんな時に、専門家の先生がいれば、その人の意見を聞くのが一番いいと考えられ、学生はあまり意見を言わないのだろう。

わら かど ふくきた
笑う門には福来る

(lit., Good fortune comes to a home where there is laughter.)